

お茶の水女子大学学报

平成 13 年 11 月 1 日
お茶の水女子大学総務課

目 次

◇ 学 内 規 則	2
◎お茶の水女子大学における競争的資金（科学研究費補助金を除く）に係る間接経費取扱要項	2
◎お茶の水女子大学における科学研究費補助金に係る間接経費取扱要項	3
◎お茶の水女子大学産学連携研究員取扱要項 ..	5
◎お茶の水女子大学科学研究費補助金の研究に係る研究支援者取扱要項	6
◎お茶の水女子大学学則の一部を改正する学則	7
◎お茶の水女子大学私学研修員、専修学校研修員、公立高等専門学校研修員及び公立大学研修員規程の一部を改正する規程	8
◎お茶の水女子大学受託研究員受入規程の一部を改正する規程	9
◎お茶の水女子大学教員停年規程の一部を改正する規程	10
◎お茶の水女子大学健康安全規程の一部を改正する規程	10
◇ 各種委員会委員	11
◇ 人 事	26
◇ 学 事	33
◎平成14年度お茶の水女子大学文教育学部第3年次編入学（社会人特別選抜を含む）学生募集要項	33
◎平成14年度お茶の水女子大学生活科学部第3年次編入学学生募集要項	42

◎平成14年度お茶の水女子大学特別選抜学生募集要項（推薦入学、帰国子女・外国学校出身者特別選抜）	44
◎平成14年度お茶の水女子大学私費外国人留学生（学部留学生）特別選抜学生募集要項 ..	54
◎学位授与	60
◎平成13年9月卒業式・大学院修了式・学位記（論文博士）授与式	61
◇ 諸 報	62
◎研 修	62
◎健康診断	63
◎レクリエーション行事	64
◎学長表彰	65
◎「大学改革と男女共同参画政策について」特別講演会	66
◎科学研究費補助金に関する説明会	66
◎国立大学法人（仮称）に関する特別研修	67
◎総合防災訓練	67
◇ 日 誌	68

学内規則

○平成13年お茶の水女子大学規則第59号

お茶の水女子大学における競争的資金（科学研究費補助金を除く）に係る間接経費取扱要項を次のように定める。

平成13年9月25日

お茶の水女子大学長 本田和子

お茶の水女子大学における競争的資金（科学研究費補助金を除く）に係る間接経費取扱要項

（趣旨）

第1 お茶の水女子大学（以下「本学」という。）における競争的資金に係る間接経費の取扱いに関し必要な事項を定める。

（定義）

第2 この要項において、直接経費とは、競争的資金により行われる研究を実施するために、研究に直接的に必要なものに対し、本学又は研究者が使用する経費をいう。

2 この要項において、間接経費とは、直接経費に対して一定比率で手当され、競争的資金による研究の実施に伴う研究機関の管理等に必要な経費として、本学が使用する経費をいう。

3 この要項において、補助事業者とは、文部科学省から競争的資金の交付を受けた者をいう。

（受入れ）

第3 間接経費の受入れは、交付決定通知書に基づき、学長が決定する。

2 学長は、間接経費の受入れを決定したときは、その決定の内容を契約担当官に通知する。

3 間接経費の受入れ契約は、学長の受入れ決定をもって締結されたものとする。

（取扱い）

第4 間接経費は、学長の責任において適正に執行し、使途の透明性を確保しなければならない。

（使途）

第5 間接経費は、競争的資金を獲得した研究者の研究開発環境の改善や研究機関全体の機能の向上に必要な経費に使用するものとし、その具体的使途については、学長が別に定める。

（使用実績報告）

第6 学長は、各年度終了後に間接経費の使用実績について、文部科学省に報告するものとする。

（雑則）

第7 この要項に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

この要項は、平成13年9月25日から施行する。

○平成13年お茶の水女子大学規則第60号

お茶の水女子大学における科学研究費補助金に係る間接経費取扱要項を次のように定める。

平成13年9月25日

お茶の水女子大学長 本田 和子

お茶の水女子大学における科学研究費補助金に係る間接経費取扱要項

(趣旨)

第1 お茶の水女子大学(以下「本学」という。)において、科学研究費補助金(特別推進研究、基盤研究(S)、基盤研究(A)、学術創成研究費)(以下「補助金」という。)に係る間接経費の取扱いに関しては、科学研究費補助金取扱規程(昭和40年文部省告示第110号)及びその他法令等別に定めがあるもののほか、この要項の定めるところによる。

(定義)

第2 この要項において、直接経費とは、補助金により行われる研究を実施するために、研究に直接的に必要なものに対し、本学又は研究者が使用する経費をいう。

2 この要項において、間接経費とは、補助金を効果的・効率的に活用できるようにするため、研究の実施に伴い研究機関において必要となる管理等に係る経費を研究費(直接経費)に上積みして措置されたものであり、補助金の交付を受けた研究代表者の研究環境の改善や研究機関全体の機能の向上に資することを目的に導入された経費として、本学が使用する経費をいう。

3 この要項において、補助事業者とは、文部科学省又は日本学術振興会から補助金の交付を受けた者をいう。

(受入れ)

第3 間接経費の受入れは、交付決定通知書及び間接経費を交付された補助事業者から提出された間接経費納付申出書に基づき、学長が決定する。

2 学長は、間接経費の受入れを決定したときは、その決定の内容を契約担当官に通知する。

3 間接経費の受入れ契約は、学長の受入決定をもって締結されたものとする。

(納付方法)

第4 間接経費の交付内定を受けた補助事業者は、交付内定通知書に記載された間接経費を本学に納付するため、間接経費納付申出書を学長に提出し、間接経費の納付を委任するものとする。

2 学長は、歳入徴収官が発行する納入告知書により、間接経費を納付するものとする。

(取扱い)

第5 間接経費は、学長の責任において適正に執行し、使途の透明性を確保しなければならない。

(使途)

第6 間接経費は、補助金による研究の実施に伴う管理等に必要な経費に使用するものとし、その具体的使途については、学長が別に定める。

(異動に伴う措置)

第7 年度途中において、間接経費が措置された科学研究費に係る研究代表者が他の研究機関に異動する場合又は研究を廃止する場合には、すでに納付済の間接経

費の一部は、原則として補助事業者に返還するものとする。

(使用実績報告)

第8 学長は、各年度終了後に間接経費の使用実績について、文部科学省に報告するものとする。

(雑則)

第9 この要項に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

この要項は、平成13年9月25日から施行する。

○平成13年お茶の水女子大学規則第61号

お茶の水女子大学産学連携研究員取扱要項を次のように定める。

平成13年9月25日

お茶の水女子大学長 本 田 和 子

お茶の水女子大学産学連携研究員取扱要項

(趣旨)

第1 この要項は、お茶の水女子大学(以下「本学」という。)において企業との共同研究又は受託研究の当該研究の能率の向上を目的として研究の遂行上必要な能力を有する研究者を非常勤研究員(以下「産学連携研究員」という。)として一定期間にわたり従事させ、本学の研究活動を発展推進させるため、必要な事項を定める。

(職務内容)

第2 産学連携研究員は、本学が契約に基づき行う企業との共同研究又は受託研究に従事する。

(資格)

第3 産学連携研究員の資格は、次の各号をすべて満たす者とする。

一 (項)産学連携等研究費(目)産学連携等研究費(企業からの受入資金に限る。)で任用されること。

二 企業との共同研究又は受託研究の遂行上必要な能力を有すると学長が認める者

三 原則として他の職に就いていない者

(選考)

第4 産学連携研究員の選考は、部局の長の申し出に基づき、学長が行う。

(身分)

第5 産学連携研究員は、常勤職員の1週間当たりの勤務時間の4分の3を超えない範囲内で勤務する非常勤職員とする。

(任用期間)

第6 産学連携研究員の任用は、年度ごとに行うものとし、当該企業との共同研究又は受託研究の継続している期間を限度として、再任用することができる。

(任用等)

第7 産学連携研究員の任用等は、第3から第6までに定めるもののほか、「非常勤職員の任用およびその他の取扱いについて」(昭和36年3月31日付け文人任第54号通知)に定めるところによる。

(給与)

第8 産学連携研究員の給与は、「非常勤職員の給与について」(平成13年3月26日付け12文科人第242号通知)及び「国立大学等において企業との共同研究・受託研究に従事する非常勤職員の取扱いについて」(平成13年3月29日付け12文科振第276号、12文科人第243号通知)に定めるところによる。

(特許等の取扱い)

第9 産学連携研究員は、お茶の水女子大学発明規程(昭和55年3月19日制定)第2条第3号に規定する「教官等」に含まれるものとする。

(研究成果の公表)

第10 産学連携研究員が任用期間中に行った研究の成果を公表する場合は、当該企業との共同研究又は受託研究を担当する教官の同意を得た後に行うものとする。

(雑則)

第11 この要項に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

この要項は、平成13年9月25日から施行する。

○平成13年お茶の水女子大学規則第62号

お茶の水女子大学科学研究費補助金の研究に係る研究支援者取扱要項を次のように定める。

平成13年9月25日

お茶の水女子大学長 本田 和子

お茶の水女子大学科学研究費補助金の研究に係る研究支援者取扱要項

(趣旨)

第1 この要項は、お茶の水女子大学（以下「本学」という。）において科学研究費補助金の研究をより一層推進するため、本学が科学研究費補助金（特別推進研究、特定領域研究、特別研究推進費、COE形成基礎研究費、地域連携推進研究費、基盤研究、萌芽的研究、奨励研究（A）、学術創成研究費）（以下「補助金」という。）の直接経費により任用する非常勤職員（以下「研究支援者」という。）について必要な事項を定める。

(職務内容)

第2 研究支援者は、補助金による研究をより一層推進するため、研究代表者の指示のもとに当該研究にのみ従事する。

(資格)

第3 研究支援者の資格は、次の各号のいずれかに該当する者とする。ただし、日本学術振興会の特別研究員に採用されている者は除く。

- 一 研究分担者を除く研究者
- 二 大学院博士後期課程に在学する者
- 三 技術者

(選考)

第4 研究支援者の選考は、補助金の研究代表者又は研究費の配分を受けた研究分担者の所属する部局の長の申し出に基づき、学長が行う。

(身分)

第5 研究支援者は、常勤職員の1週間当たりの勤務時間の4分の3を超えない範囲内で勤務する非常勤職員とする。

(任用期間)

第6 研究支援者の任用は、次の各号に掲げる期間とする。

- 一 前年度に継続が内約されている研究課題にあつては、当該年度の4月1日から当該年度の2月末日まで。
- 二 当該年度に新たに採択された研究課題にあつては、補助金の交付内定通知を受けた日から当該年度の2月末日まで。

(任用等)

第7 研究支援者の任用等は、第3から第6までに定めるもののほか、「非常勤職員の任用およびその他の取扱いについて」（昭和36年3月31日付け文人任第54号通知）に定めるところによる。

(給与)

第8 研究支援者の給与は、「非常勤職員の給与について」（平成13年3月26日付け12文科人第242号通知）に定めるところによる。

(雑則)

第9 この要項に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

この要項は、平成13年9月25日から施行する。

○平成13年お茶の水女子大学規則第63号

お茶の水女子大学学則の一部を改正する学則を次のように定める。

平成13年9月26日

お茶の水女子大学長 本 田 和 子

お茶の水女子大学学則の一部を改正する学則

お茶の水女子大学学則（昭和24年5月31日制定）の一部を次のように改正する。

第6節の節名中「公立大学研修員」の次に「、教員研修センター研修員」を加える。

第45条の2中「又は公立大学」を「、公立大学又は教員研修センター」に、「申し出」を「申出」に、「又は公立大学研修員」を「、公立大学研修員又は教員研修センター研修員」に改める。

第47条中「公立大学研修員」の次に「、教員研修センター研修員」を加える。

附 則

この学則は、平成13年9月26日から施行し、平成13年4月1日から適用する。

○平成13年お茶の水女子大学規則第64号

お茶の水女子大学私学研修員、専修学校研修員、公立高等専門学校研修員及び公立大学研修員規程の一部を改正する規程を次のように定める。

平成13年9月26日

お茶の水女子大学長 本田 和子

お茶の水女子大学私学研修員、専修学校研修員、公立高等専門学校研修員及び公立大学研修員規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学私学研修員、専修学校研修員、公立高等専門学校研修員及び公立大学研修員規程（昭和39年12月23日制定）の一部を次のように改正する。

題名を次のように改める。

お茶の水女子大学私学研修員、専修学校研修員、公立高等専門学校研修員、公立大学研修員及び教員研修センター研修員規程

第1条中「及び公立大学研修員受入実施要項（昭和39年5月1日文部省大学学術局長決裁）」を「、公立大学研修員及び教員研修センター研修員受入実施要項（平成13年3月30日付け文部科学省研究振興局長通知）」に、「又は公立大学」を「、公立大学又は教員研修センター」に、「又は公立大学研修員」を「、公立大学研修員又は教員研修センター研修員」に改める。

第2条中「又は公立大学」を「、公立大学又は教員研修センター」に改める。

第3条第1項を次のように改める。

第3条 研修員の受入れは、私学の場合は、私学研修福祉会理事長の申出に基づき、専修学校の場合は、専修学校教育振興会理事長の申出に基づき、公立高等専門学校の場合は、学校長の申出に基づき、公立大学の場合は、大学長の申出に基づき、教員研修センターの場合は、独立行政法人教員研修センター理事長の申出に基づき、当該学部教授会等において選考の上、学長がこれを承認する。

第4条中「文部科学省高等教育局長」を「文部科学省研究振興局長」に改める。

附 則

この規程は、平成13年9月26日から施行し、平成13年4月1日から適用する。

○平成13年お茶の水女子大学規則第65号

お茶の水女子大学受託研究員受入規程の一部を改正する規程を次のように定める。

平成13年9月26日

お茶の水女子大学長 本 田 和 子

お茶の水女子大学受託研究員受入規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学受託研究員受入規程（平成元年6月28日制定）の一部を次のように改正する。

別表を次のように改める。

別 表

区	分	研究期間	委託者
一般の受託研究員	長期	6か月を超えて1年以内	民間会社等の長
	短期	6か月以内	
農林水産省農林水産技術会議事務局所管の独立行政法人（注参照）が定める「国内留学制度」による受託研究員	長期	6か月を超えて1年以内	所属する独立行政法人の長
	短期	6か月以内	
農林水産省農林水産技術会議事務局所管の独立行政法人が定める「流動研究員制度」による受託研究員		3か月以内	所属する独立行政法人の長
農林水産省「農業改良普及推進事業実施要領（普及職員等資質向上緊急対策事業）」による受託研究員	改良普及員	6か月以内	都道府県知事
	専門技術員及び農業者研修教育施設等指導職員	3か月以内	
文部科学省「国立試験研究機関等に従事する研究職員のための国内留学制度」による受託研究員	長期	6か月を超えて1年以内	文部科学省科学技術・学術政策局長
	短期	6か月以内	

（注）農林水産省農林水産技術会議事務局所管の独立行政法人

農業技術研究機構、農業生物資源研究所、農業環境技術研究所、農業工学研究所、食品総合研究所、国際農林水産業研究センター、森林総合研究所、水産総合研究センター

附 則

この規程は、平成13年9月26日から施行し、平成13年4月1日から適用する。

○平成13年お茶の水女子大学規則第66号

お茶の水女子大学教員停年規程の一部を改正する規程を次のように定める。

平成13年9月26日

お茶の水女子大学長 本田和子

お茶の水女子大学教員停年規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学教員停年規程（昭和59年6月13日制定）の一部を次のように改正する。

題名を次のように改める。

お茶の水女子大学教員定年規程

第1条中「第8条第2項」を「第8条の2」に、「停年」を「定年」に改める。

第2条（見出しを含む。）中「停年」を「定年」に改める。

附 則

この規程は、平成13年9月26日から施行し、平成13年4月1日から適用する。

○平成13年お茶の水女子大学規則第67号

お茶の水女子大学健康安全管理規程の一部を改正する規程を次のように定める。

平成13年9月26日

お茶の水女子大学長 本田和子

お茶の水女子大学健康安全管理規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学健康安全管理規程（昭和52年5月25日制定）の一部を次のように改正する。

第1条中「文部省健康安全管理規程（昭和48年文部省訓令第23号）」を「文部科学省健康安全管理規程（平成13年文部科学省訓令第10号）」に改める。

附 則

この規程は、平成13年9月26日から施行し、平成13年1月6日から適用する。

◆各種委員会委員◆

1. () は事務担当課
2. *は委員長又は議長
3. 任期無記入は官職指定
4. 官職は最新のを掲載
(編集集中の異動についてもできる限り補正した)

評議会 (総務課)

官職等	氏 名	任 期
学 長	*本 田 和 子	
副 学 長 (研究・企画 担当)	松 本 勲 武	
副 学 長 (教育・厚生 補導担当)	市 古 夏 生	
文教育学部 部 長	山 本 秀 行	
理学部長	笠 原 勇 二	
生活科学 部 長	板 倉 壽 郎	
大 学 院 大 人 間 文 化 研 究 科 長	徳 丸 吉 彦	
附 属 図 書 館 長	藤 原 正 彦	
附 属 学 校 部 長	石 川 宏	11. 4. 1~14. 3. 31
文教育学部	秋 山 光 文	12. 4. 1~14. 3. 31
選出評議員	鷹 野 光 行	12. 4. 1~14. 3. 31
理 学 部	石 和 貞 男	12. 4. 1~14. 3. 31
選出評議員	今 野 美 智 子	13. 2. 16~14. 3. 31
生活科学部	久 保 田 紀 久 枝	12. 4. 1~14. 3. 31
選出評議員	袖 井 孝 子	13. 4. 1~14. 3. 31
大学院人間 文化研究科	平 野 由 紀 子	12. 4. 1~14. 3. 31
選出評議員	小 川 昭 二 郎	12. 4. 1~14. 3. 31
学長指名 評 議 員	内 田 伸 子	12. 4. 1~14. 3. 31

評議会規則第11条に定める者

官職等	氏 名	任 期
ジェンダー 研 究 セ ン タ ー 長	波 平 恵 美 子	
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 長	近 藤 和 雄	
留 学 生 セ ン タ ー 長	福 田 豊	
事 務 局 長	矢 加 部 英 敏	

部局長会議 (総務課)

官職等	氏 名	任 期
学 長	*本 田 和 子	
副 学 長 (研究・企画 担当)	松 本 勲 武	
副 学 長 (教育・厚生 補導担当)	市 古 夏 生	
文教育学部 部 長	山 本 秀 行	
理学部長	笠 原 勇 二	
生活科学 部 長	板 倉 壽 郎	
大 学 院 大 人 間 文 化 研 究 科 長	徳 丸 吉 彦	
附 属 図 書 館 長	藤 原 正 彦	
附 属 学 校 部 長	石 川 宏	
ジェンダー 研 究 セ ン タ ー 長	波 平 恵 美 子	
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 長	近 藤 和 雄	
留 学 生 セ ン タ ー 長	福 田 豊	
事 務 局 長	矢 加 部 英 敏	

学長補佐会議 (総務課)

官職等	氏 名	任 期
学 長	* 本 田 和 子	
副 学 長 (研究・企画 担当)	松 本 勲 武	
副 学 長 (教育・厚生 補導担当)	市 古 夏 生	
事 務 局 長	矢 加 部 英 敏	

大学資料委員会 (総務課)

官職等	氏 名	任 期
附 属 図 書 館 長	* 藤 原 正 彦	
文教育学部 選 出 委 員	アリン・B・ マイクス・アチ	13. 4. 1~14. 3. 31
理 学 部 選 出 委 員	竹 尾 富 貴 子	
生活科学部 選 出 委 員	吉 村 佳 子	
文教育学部 教 授	秋 山 光 文	12. 4. 1~14. 3. 31
文教育学部 教 授	鷹 野 光 行	
ジェンダー 研究センター 一 教 授	館 かおる	
大学院人間 文化研究科 助 教 授	米 田 俊 彦	13. 7. 13~15. 7. 12
大学院人間 文化研究科 教 授	小 風 秀 雅	12. 7. 1~14. 6. 30

セクシュアル・ハラスメント 防止対策委員会 (総務課)

官職等	氏 名	任 期
副 学 長 (研究・企画 担当)	* 松 本 勲 武	
事 務 局 長	矢 加 部 英 敏	
副 学 長 指 名 委 員	菅 聡 子	13. 4. 1~15. 3. 31
	石 和 貞 男	13. 4. 1~14. 3. 31
	戒 能 民 江	13. 4. 1~15. 3. 31
	天 野 正 子	13. 4. 1~15. 3. 31
	高 橋 通 泰	13. 7. 16~15. 3. 31
事 務 局 長 指 名 委 員	榎 田 正 子	13. 7. 16~14. 3. 31
	下 田 勝	
	若 井 明	

事務改善研究委員会 (総務課)

官職等	氏 名	任 期
事務局長	*矢加部 英 敏	
総務課長	下 田 勝	
会計課長	加 藤 妙 子	
施設課長	外 山 信 豊	
学務課長	花 房 茂 俊	
学生課長	若 井 明	
入試課長	高 橋 裕 俊	
留学生課長	荒 木 進一郎	
総務課 課長補佐	近 本 政 明	
会計課 課長補佐	峯 村 薫	
施設課 課長補佐	早 川 満 雄	
学務課 課長補佐	柿 澤 秀 春	
企画広報 室 長	西 村 光 範	
研究協力 室 長	菊 池 昭 夫	
研究科・ 学部事務長	高 野 佳 征	
附属図書館 事務長	海老原 葵	

事務連絡協議会 (総務課)

官職等	氏 名	任 期
事務局長	*矢加部 英 敏	
総務課長	下 田 勝	
会計課長	加 藤 妙 子	
施設課長	外 山 信 豊	
学務課長	花 房 茂 俊	
学生課長	若 井 明	
入試課長	高 橋 裕 俊	
留学生課長	荒 木 進一郎	
企画広報 室 長	西 村 光 範	
研究協力 室 長	菊 池 昭 夫	
附属図書館 事務長	海老原 葵	
研究科・ 学部事務長	高 野 佳 征	
総務課 課長補佐	近 本 政 明	
会計課 課長補佐	峯 村 薫	
施設課 課長補佐	早 川 満 雄	
学務課 課長補佐	柿 澤 秀 春	
附属学校部 事務室長	平 松 周 二	
学 生 課 専 門 員	古 賀 智	
研究科・ 学部事務 専 門 員	斉 藤 実	

評価委員会 (企画広報室)

官職等	氏名	任期
副学長 (研究・企画担当)	*松本勲武	13. 4. 1~15. 3. 31
副学長 (教育・厚生補導担当)	市古夏生	
評議員	鷹野光行	
	石和貞男	
	袖井孝子	
小川昭二郎		
文教育学部 選出委員	土屋賢二	12. 4. 1~14. 3. 31
理学部 選出委員	細矢治夫	
生活科学部 選出委員	脊山洋右	
大学院人間 文化研究科 選出委員	内田忠賢	
総務課長	下田勝	

ホームページ運営委員会 (企画広報室)

官職等	氏名	任期
文教育学部 選出委員	宮尾正樹	13. 11. 1~15. 10. 31
理学部 選出委員	*森義仁	
生活科学部 選出委員	大瀧雅寛	
大学院人間 文化研究科 選出委員	真島秀行	
シニア研究センター、 生活環境研究センター、 健康増進センター、 留学生センター選出委員	森山新	
附属学校園 選出委員	加々美勝久	
事務局 選出委員	下田勝	
附属図書館 選出委員	海老原葵	
情報処理センター 運営委員会選出委員	佐藤浩史	

将来構想検討委員会 (企画広報室)

官職等	氏名	任期
学長	*本田和子	
副学長 (研究・企画担当)	松本勲武	
副学長 (教育・厚生補導担当)	市古夏生	
文教育学部 部長	山本秀行	
理学部長	笠原勇二	
生活科学部 部長	板倉壽郎	
大学院人間 文化研究科 長	徳丸吉彦	
附属 図書館長	藤原正彦	
附属 学校部長	石川宏	
事務局長	矢加部英敏	

公開講座委員会 (企画広報室)

官職等	氏名	任期
副学長 (研究・企画担当)	*松本勲武	
評議員	久保田紀久枝	
文教育学部 選出委員	杉谷隆	12. 12. 1~14. 11. 30
理学部 選出委員	水村真由美	13. 12. 1~15. 11. 30
生活科学部 選出委員	古川はづき	13. 12. 1~15. 11. 30
生活科学部 選出委員	石和貞男	12. 12. 1~14. 11. 30
生活科学部 選出委員	鈴木禎宏	13. 12. 1~15. 11. 30
生活科学部 選出委員	香西みどり	12. 12. 1~14. 11. 30
大学院人間 文化研究科 選出委員	畑江敬子	12. 12. 1~14. 11. 30
	大塚常樹	

広報委員会 (企画広報室)

官職等	氏 名	任 期
副学長 (研究・企画 担当)	*松本勲武	
副学長 (教育・厚生 補導担当)	市古夏生	
評 議 員	秋山光文	12. 10. 1~14. 3. 31
	石和貞男	
	袖井孝子	
	小川昭二郎	
文教育学部 選出委員	石口 彰	12. 10. 1~14. 3. 31
理学部 選出委員	今野美智子	
生活科学部 選出委員	會川義寛	
大学院人間 文化研究科 選出委員	天野知香	
ホームページ 運営委員 会委員長	森 義仁	
企画広 報室長	西村光範	

独立行政法人化調査検討委員会 (企画広報室)

官職等	氏 名	任 期
副学長 (研究・企画 担当)	*松本勲武	
副学長 (教育・厚生 補導担当)	市古夏生	
文教育学部 選出委員	小風秀雅 竹村和子	13. 4. 1~15. 3. 31
理学部 選出委員	菅本晶夫 室伏きみ子	
生活科学部 選出委員	松浦秀治 吉村佳子	
大学院人間 文化研究科 選出委員	坂本佳鶴恵 村田容常	
センター研究セン ター、生活環境研究セン ター、留学生セン ター選出委員	伊藤るり	
附属学校 選出委員	荻原万紀子 宗我部 義則	
総務課長	下田 勝	
会計課長	加藤妙子	

発明委員会 (研究協力室)

官職等	氏名	任期
文教育学部 選出委員	内藤 俊史	12. 10. 1~14. 9. 30
理学部 選出委員	室伏 きみ子 藤代 一成	
生活科学部 選出委員	仲西 正	
大学院人間 文化研究科 選出委員	村田 容常	13. 4. 1~15. 3. 31
生活環境研 究センター 選出委員	倉田 忠男	12. 10. 1~14. 9. 30

共同研究委員会 (研究協力室)

官職等	氏名	任期
副学長 (研究・企画 担当)	*松本 勲武	
文教育学 部 長	山本 秀行	
理学部長	笠原 勇二	
生活科学 部 長	板倉 壽郎	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 長	徳丸 吉彦	
ジェンダー 研 究 セ ン ター 長	波平 恵美子	
生 活 環 境 研 究 セ ン ター 長	近藤 和雄	
事務局長	矢加部 英敏	

国際交流委員会 (研究協力室)

官職等	氏名	任期
学 長	*本田 和子	
副学長 (研究・企画 担当)	松本 勲武	
副学長 (教育・厚生 補導担当)	市古 夏生	
文教育学 部 長	山本 秀行	
理学部長	笠原 勇二	
生活科学 部 長	板倉 壽郎	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 長	徳丸 吉彦	
附 属 図 書 館 長	藤原 正彦	
留 学 生 セ ン ター 長	福田 豊	
評 議 員	秋山 光文	
	今野 美智子	
	袖井 孝子	
	平野 由紀子	
事務局長	矢加部 英敏	

組換えDNA実験安全委員会 (研究協力室)

官職等	氏名	任期
研 究 者	*松浦 悦子	13. 12. 16~15. 12. 15
自然科学	村田 容常	
人文科学	佐藤 光子	
社会科学	大森 正博	13. 12. 16~15. 12. 15
医 学	森田 寛	
研究科・ 学部事務長	高野 佳征	
安全主任者	馬場 昭次	13. 12. 16~15. 12. 15

生活環境研究センター運営委員会 (研究協力室)

官職等	氏 名	任 期
生活環境研究センター長	*近藤和雄	
生活環境研究センター教授	倉田忠男	
生活環境研究センター教授	大塚 讓	
生活環境研究センター助教授	富永典子	
文教育学部選出委員	内藤博夫	12. 4. 1~14. 3. 31
理学部選出委員	永野 肇	13. 2. 16~14. 3. 31
生活科学部選出委員	會川義寛	12. 4. 1~14. 3. 31
生活科学部選出委員	本間清一	
大学院人間文化研究科選出委員	馬場昭次	

バス・コレクション・システム運営委員会 (研究協力室)

官職等	氏 名	任 期
文教育学部選出委員	石口 彰	12. 4. 1~14. 3. 31
	清水徹郎	
理学部選出委員	*細矢治夫	
	森 義仁	
生活科学部選出委員	會川義寛	12. 4. 1~14. 3. 31
	伊藤亜矢子	
大学院人間文化研究科選出委員	坂元 章	12. 4. 1~14. 3. 31
	佐藤浩史	
附属高等学校選出委員	室岡和彦	12. 4. 1~14. 3. 31
附属中学校選出委員	松本純一	
総務課長	下田 勝	
会計課長	加藤妙子	
施設課長	外山信豊	
学務課長	花房茂俊	

ジェンダー研究センター運営委員会 (研究協力室)

官職等	氏 名	任 期
ジェンダー研究センター長	*波平恵美子	
ジェンダー研究センター教授	館 かおる	
ジェンダー研究センター教授	伊藤るり	
文教育学部選出委員	天野正子	
	箕浦康子	12. 4. 1~14. 3. 31
理学部選出委員	前田ミチエ	
	今野美智子	
生活科学部選出委員	駒城素子	
	戒能民江	
大学院人間文化研究科選出委員	米田俊彦	
	竹村和子	

共通機器センター運営委員会 (研究協力室)

官職等	氏 名	任 期
センター長	*益田祐一	12. 12. 1~14. 11. 30
文教育学部選出委員	西尾道子	12. 4. 1~14. 3. 31
	石口 彰	13. 4. 1~15. 3. 31
理学部選出委員	小林哲幸	12. 4. 1~14. 3. 31
	今井正幸	13. 4. 1~15. 3. 31
生活科学部選出委員	仲西 正	12. 4. 1~14. 3. 31
	森光康次郎	13. 4. 1~15. 3. 31
大学院人間文化研究科選出委員	林 正男	13. 4. 1~15. 3. 31
	村田容常	12. 4. 1~14. 3. 31
生活環境研究センター選出委員	大塚 讓	13. 4. 1~15. 3. 31

情報処理センター運営委員会 (研究協力室)

官職等	氏 名	任 期
情報処理センター長	*佐藤浩史	12. 10. 1~14. 9. 30
情報処理センター主任	市川哲彦	
文教育学部選出委員	土屋賢二 新名謙二	
理学部選出委員	小林功佳 森義仁	
生活科学部選出委員	村田容常 小谷眞男	
大学院人間文化研究科選出委員	内藤俊史	
ジェンダー研究センター選出委員	伊藤るり	
生活環境研究センター選出委員	富永典子	
附属図書館長	藤原正彦	

予算委員会 (会計課)

官職等	氏 名	任 期
副学長(研究・企画担当)	*松本勲武	
副学長(教育・厚生補導担当)	市古夏生	
文教育学部長	山本秀行	
理学部長	笠原勇二	
生活科学部長	板倉壽郎	
大学院人間文化研究科長	徳丸吉彦	
附属図書館長	藤原正彦	
評議員	秋山光文 今野美智子 久保田紀久枝 平野由紀子	
文教育学部選出委員	土屋賢二	13. 4. 1~15. 3. 31
理学部選出委員	根本心一	12. 4. 1~14. 3. 31
生活科学部選出委員	本間清一	12. 4. 1~14. 3. 31
大学院人間文化研究科選出委員	竹尾富貴子	13. 4. 1~15. 3. 31
ジェンダー研究センター長	波平恵美子	
生活環境研究センター長	近藤和雄	
留学生センター長	福田豊	
事務局長	矢加部英敏	
会計課長	加藤妙子	

防災委員会 (会計課)

官職等	氏 名	任 期
学 長	*本 田 和 子	
副 学 長 (教育・厚生 補導担当)	市 古 夏 生	
文 教 育 学 部 部 長	山 本 秀 行	
理 学 部 長	笠 原 勇 二	
生 活 科 学 部 部 長	板 倉 壽 郎	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 大 人 研 究 科 長	徳 丸 吉 彦	
附 属 図 書 館 長	藤 原 正 彦	
附 属 学 校 部 長	石 川 宏	
保 健 セ ン タ ー 管 理 所 長	森 田 寛	
事 務 局 長	矢 加 部 英 敏	
総 務 課 長	下 田 勝	
会 計 課 長	加 藤 妙 子	
施 設 課 長	外 山 信 豊	
学 務 課 長	花 房 茂 俊	
学 生 課 長	若 井 明	

廃水管理委員会 (施設課)

官職等	氏 名	任 期
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 一 選 出 委 員	*富 永 典 子	
文 教 育 学 部 選 出 委 員	杉 谷 隆	
理 学 部 選 出 委 員	松 浦 悦 子 今 井 正 幸 益 田 祐 一	13. 10. 1~15. 9. 30
生 活 科 学 部 選 出 委 員	大 瀧 雅 寛 香 西 み どり	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 選 出 委 員	永 野 肇	13. 4. 1~15. 3. 31
附 属 高 等 学 校 選 出 委 員	石 井 朋 子	13. 10. 1~15. 9. 30
附 属 中 学 校 選 出 委 員	前 川 徹 也	
会 計 課 長	加 藤 妙 子	
施 設 課 長	外 山 信 豊	

施設計画委員会 (施設課)

官職等	氏 名	任 期
学 長	* 本 田 和 子	
副学長 (研究・企画 担当)	松 本 勲 武	
副学長 (教育・厚生 補導担当)	市 古 夏 生	
文教育学部 部 長	山 本 秀 行	
理学部長	笠 原 勇 二	
生活科学 部 長	板 倉 壽 郎	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 長	徳 丸 吉 彦	
附 属 図 書 館 長	藤 原 正 彦	
附 属 学 校 部 長	石 川 宏	
評 議 員	秋 山 光 文	
	今 野 美 智 子	
	久 保 田 紀 久 枝	
	平 野 由 紀 子	
文教育学部 選 出 委 員	杉 谷 隆	11. 10. 1~13. 9. 30
理 学 部 選 出 委 員	松 浦 悦 子	12. 4. 1~14. 3. 31
生活科学部 選 出 委 員	田 中 辰 明	12. 4. 1~14. 3. 31
大学院人間 文化研究科 選 出 委 員	牧 野 カツコ	13. 4. 1~15. 3. 31
ジェンダー 研 究 セ ン タ ー 長	波 平 恵 美 子	
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 長	近 藤 和 雄	
留 学 生 セ ン タ ー 長	福 田 豊	
事 務 局 長	矢 加 部 英 敏	

学務委員会 (学務課)

官職等	氏 名	任 期
副学長 (教育・厚生 補導担当)	* 市 古 夏 生	
評 議 員	鷹 野 光 行	
	石 和 貞 男	
	久 保 田 紀 久 枝	
文教育学部 選 出 委 員	松 崎 毅	13. 4. 1~15. 3. 31
理 学 部 選 出 委 員	新 名 謙 二	12. 4. 1~14. 3. 31
生活科学部 選 出 委 員	小 林 功 佳	13. 4. 1~15. 3. 31
理 学 部 選 出 委 員	塚 田 和 美	12. 4. 1~14. 3. 31
生活科学部 選 出 委 員	鈴 木 恵 美 子	13. 4. 1~15. 3. 31
理 学 部 選 出 委 員	香 西 み どり	12. 4. 1~14. 3. 31

フカティ・ディバロップメント委員会 (学務課)

官職等	氏 名	任 期
副学長 (教育・厚生 補導担当)	* 市 古 夏 生	
副学長 (研究・企画 担当)	松 本 勲 武	
評 議 員	秋 山 光 文	
	今 野 美 智 子	
	久 保 田 紀 久 枝	
	平 野 由 紀 子	
文教育学部 選 出 委 員	内 田 忠 賢	12. 10. 1~14. 3. 31
理 学 部 選 出 委 員	富 永 靖 徳	
生活科学部 選 出 委 員	脊 山 洋 右	13. 4. 1~14. 3. 31
大学院人間 文化研究科 選 出 委 員	坂 元 章	12. 10. 1~14. 3. 31

学生委員会 (学生課)

官職等	氏 名	任 期
副学長 (教育・厚生 補導担当)	*市古夏生	
評議員	鷹野光行	
	石和貞男	
文教育学部 選出委員	和田英信	12. 4. 1~14. 3. 31
	天野知香	13. 4. 1~15. 3. 31
理学部 選出委員	今井正幸	12. 4. 1~14. 3. 31
	吉田裕亮	13. 4. 1~15. 3. 31
生活科学部 選出委員	森光康次郎	12. 4. 1~14. 3. 31
	吉村佳子	13. 4. 1~15. 3. 31
大学院人間 文化研究科 選出委員	安成英樹	13. 4. 1~15. 3. 31
	小林哲幸	
	村田容常	

共用体育施設等管理運営委員会 (学生課)

官職等	氏 名	任 期
副学長 (教育・厚生 補導担当)	*市古夏生	
附 属 学校部長	石川 宏	
文教育学部 選出委員	杉山 進	12. 6. 16~14. 6. 15
会計課長	加藤 妙子	
学生課長	若井 明	

学生相談室運営委員会 (学生課)

官職等	氏 名	任 期
副学長 (教育・厚生 補導担当)	*市古夏生	
文教育学部 選出委員	箕浦康子	12. 10. 1~14. 3. 31
理学部 選出委員	前田ミチエ	
生活科学部 選出委員	青木紀久代	
大学院人間 文化研究科 選出委員	無藤 隆 羽入 佐和子	
学生課長	若井 明	

保健管理センター運営委員会 (学生課)

官職等	氏 名	任 期
保健管理セ ンター所長 事務取扱	*市古夏生	
副学長 (教育・厚生 補導担当)	*市古夏生	
文教育学部 選出委員	水村 真由美	13. 4. 1~15. 3. 31
	杉山 進	12. 4. 1~14. 3. 31
理学部 選出委員	前田ミチエ	13. 4. 1~15. 3. 31
	富永靖徳	12. 4. 1~14. 3. 31
生活科学部 選出委員	脊山洋右	13. 4. 2~15. 3. 31
	黒田淑子	13. 4. 1~14. 3. 31
大学院人間 文化研究科 選出委員	近藤和雄	13. 4. 1~15. 3. 31
附 属 高等学 校選出 委員	増田 かやの	12. 4. 1~14. 3. 31
事務局長	矢加部 英敏	

入学試験委員会 (入試課)

官職等	氏 名	任 期
学 長	* 本 田 和 子	
副学長 (研究・企画 担当)	松 本 勲 武	
副学長 (教育・厚生 補導担当)	市 古 夏 生	
文教育学 部 長	山 本 秀 行	
理学部長	笠 原 勇 二	
生活科学 部 長	板 倉 壽 郎	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 長	徳 丸 吉 彦	
事務局長	矢加部 英 敏	

入学者選抜方法研究委員会 (入試課)

官職等	氏 名	任 期
副学長 (教育・厚生 補導担当)	* 市 古 夏 生	
評 議 員	鷹 野 光 行	
	今 野 美 智 子	
	袖 井 孝 子	
文教育学部 選出委員	安 成 英 樹	12. 4. 1~14. 3. 31
	三 輪 建 二	13. 4. 1~15. 3. 31
理学部 選出委員	森 義 仁	12. 4. 1~14. 3. 31
	榎 本 陽 子	13. 4. 1~15. 3. 31
生活科学部 選出委員	御 船 美 智 子	12. 4. 1~14. 3. 31
	藤 原 葉 子	13. 4. 1~15. 3. 31

学部入試実施委員会 (入試課)

官職等	氏 名	任 期
副学長 (教育・厚生 補導担当)	* 市 古 夏 生	
文教育学 部 長	山 本 秀 行	
理学部長	笠 原 勇 二	
生活科学 部 長	板 倉 壽 郎	
文教育学部 選出委員	坂 本 佳 鶴 恵	12. 4. 1~14. 3. 31
	三 浦 謙	13. 4. 1~15. 3. 31
理学部 選出委員	森 義 仁	12. 4. 1~14. 3. 31
	榎 本 陽 子	13. 4. 1~15. 3. 31
生活科学部 選出委員	御 船 美 智 子	12. 4. 1~14. 3. 31
	藤 原 葉 子	13. 4. 1~15. 3. 31
事務局長	矢加部 英 敏	

博士前期課程入試委員会 (入試課)

官職等	氏 名	任 期
副学長 (教育・厚生 補導担当)	* 市 古 夏 生	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 長	徳 丸 吉 彦	
評 議 員	平 野 由 紀 子	
言語文化専 攻選出委員	伊 藤 美 重 子	13. 4. 1~15. 3. 31
人文学専攻 選出委員	佐 藤 光 子	13. 4. 1~15. 3. 31
発達社会科学専攻 選出委員	黒 田 淑 子	13. 4. 1~15. 3. 31
	永 瀬 伸 子	13. 4. 1~15. 3. 31
ライフサイ エンス専攻 選出委員	大 瀧 雅 寛	13. 4. 1~15. 3. 31
	水 野 美 砂 子	13. 4. 1~15. 3. 31
物質科学専 攻選出委員	益 田 祐 一	13. 4. 1~15. 3. 31
数理・情報 科学専攻 選出委員	金 子 晃	13. 4. 1~15. 3. 31

博士後期課程入試委員会 (入試課)

官職等	氏 名	任 期
副 学 長 (教育・厚生 補導担当)	*市 古 夏 生	
大 学 院 文 化 研 究 科 長	徳 丸 吉 彦	
評 議 員	小 川 昭 二 郎	
比較社会文 化学専攻 選出委員	新 井 由 紀 夫	13. 4. 1~15. 3.31
	竹 村 和 子	13. 4. 1~15. 3.31
国際日本学 専攻 選出委員	内 田 忠 賢	13. 4. 1~15. 3.31
	菅 聡 子	13. 4. 1~15. 3.31
人間発達科 学専攻 選出委員	酒 井 朗	13. 4. 1~15. 3.31
	伊 藤 美 奈 子	13. 4. 1~15. 3.31
人間環境科 学専攻 選出委員	仲 西 正	13. 4. 1~15. 3.31
	千 葉 和 義	13. 4. 1~15. 3.31
複合領域科 学専攻 選出委員	吉 田 裕 亮	13. 4. 1~15. 3.31
	山 田 眞 二	13. 4. 1~15. 3.31

留学生センター運営委員会 (留学生課)

官職等	氏 名	任 期
センター長	*福 田 豊	
留学生セン ター教授	村 松 賢 一	
留学生セン ター助教授	佐々木 泰 子	
留学生セン ター助教授	加賀美 常美代	
留学生セン ター助教授	森 山 新	13. 4. 1~15. 3.31
文教育学部 選出委員	箕 浦 康 子	
	小 風 秀 雅	
理 学 部 選出委員	芦 原 坦	
	鷹 野 景 子	
生活科学部 選出委員	小 谷 眞 男	
	柴 坂 寿 子	
大学院人間 文化研究科 選出委員	室 伏 きみ子	
	大 塚 常 樹	

附属図書館運営委員会 (附属図書館事務部)

官職等	氏名	任期
附属図書館長	*藤原正彦	
文教教育学部	菅聡子	12. 4. 1~14. 3. 31
選出委員	佐藤光子	12. 10. 1~14. 9. 30
理学部	武部尚志	
選出委員	鷹野景子	12. 4. 1~14. 3. 31
生活科学部	小谷眞男	
選出委員	松浦秀治	13. 4. 1~15. 3. 31
大学院人間文化研究科	村田真弓	13. 6. 1~15. 5. 31
選出委員	塚田和美	13. 6. 1~15. 5. 31
ジェンダー研究センター選出委員	伊藤るり	12. 4. 1~14. 3. 31
情報処理センター長	佐藤浩史	

理学部附属臨海実験所運営委員会 (研究科・学部事務部)

官職等	氏名	任期
理学部長	*笠原勇二	
理学部附属臨海実験所長	根本心一	
理学部	富永靖徳	12. 4. 1~14. 3. 31
選出委員	今野美智子	13. 2. 16~14. 3. 31
	山下貴司	12. 4. 1~14. 3. 31
理学部附属臨海実験所	清本正人	
文教教育学部	内田忠賢	12. 4. 1~14. 3. 31
選出委員	内藤博夫	13. 4. 1~15. 3. 31
生活科学部	本間清一	
選出委員	近藤和雄	12. 4. 1~14. 3. 31
会計課長	加藤妙子	
施設課長	外山信豊	

理学部フロンティア実験室運営委員会 (研究科・学部事務部)

官職等	氏名	任期
理学部長	*笠原勇二	
フロンティア実験室長	松浦悦子	
放射線取扱主任者	古田悦子	
理学部	浜谷望	
選出委員	小川温子	12. 10. 1~14. 9. 30
	山本直樹	
生活科学部	藤原葉子	
選出委員		13. 10. 1~15. 9. 30
生活環境研究センター選出委員	富永典子	

理学部極低温実験室運営委員会 (研究科・学部事務部)

官職等	氏名	任期
理学部長	*笠原勇二	
極低温実験室長	浜谷望	
理学部	富永靖徳	13. 4. 1~15. 3. 31
選出委員	永野肇	
	芦原坦	12. 4. 1~14. 3. 31
生活科学部	畑江敬子	
選出委員		

附属学校委員会 (附属学校部)

官職等	氏 名	任 期
附 属 学校部長	*石 川 宏	
文教育学部 選出委員	田 官 兵 衛	13. 4. 1 ~15. 3. 31
理 学 部 選出委員	室 伏 きみ子	12. 4. 1 ~14. 3. 31
生活科学部 選出委員	牧 野 カツコ	13. 4. 1 ~14. 3. 31
大学院人間 文化研究科 選出委員	耳 塚 寛 明	13. 4. 1 ~15. 3. 31
事 務 局 長	矢加部 英 敏	
附 属 小学校長	無 藤 隆	
附 属 中学校長	小 川 昭二郎	
附 属 高等学校長	藤 枝 修 子	
附 属 幼稚園長	片 岡 康 子	
附 属 小学校教頭	黒 部 善 之	
附 属 中学校教頭	佐々木 和 枝	
附 属 高 等 学校教頭	高 橋 通 泰	
附 属 幼稚園教頭	榊 田 正 子	

附属学校教育研究委員会 (附属学校部)

官職等	氏 名	任 期
附 属 学校部長	*石 川 宏	
文教育学部 選出委員	酒 井 朗	13. 4. 1~15. 3. 31
理 学 部 選出委員	室 伏 きみ子	12. 4. 1~14. 3. 31
生活科学部 選出委員	青 木 紀久代	13. 4. 1~15. 3. 31
大学院人間 文化研究科 選出委員	内 藤 俊 史	13. 4. 1~15. 3. 31
附属小学校 選出委員	成 田 信 子 村 上 博 之	13. 4. 1~15. 3. 31 12. 4. 1~14. 3. 31
附属中学校 選出委員	宗我部 義 則 小 泉 薫	12. 4. 1~14. 3. 31 13. 4. 1~15. 3. 31
附 属 高 等 学校選出委員	田 中 京 子 茶 圓 幸 子	13. 4. 1~15. 3. 31 12. 4. 1~14. 3. 31
附属幼稚園 選出委員	上坂元 絵 里 伊集院 理 子	13. 4. 1~15. 3. 31 12. 4. 1~14. 3. 31

人 事

○人事異動

発令年月日	氏名	官職等	異動前の所属・職名
◇ 退職			
H13.9.30	中村 一吉	退職承認	会計課
◇ 採用			
H13.10.1	高水 雅司	総務課	
H13.10.1	岩岡 友美	総務課	
H13.10.1	小野 貴子	総務課	
H13.10.1	山口 久郎	会計課	
H13.10.1	前田 礼二	会計課	
H13.10.1	廣田 未来	附属図書館	
H13.10.1	兵藤 徳和	理学部	
H13.10.1	藤田 宗和	助教授 (生活科学部)	
H13.10.1	大森 正博	助教授 (生活科学部)	
H13.10.1	森山 新	助教授 (留学生センター)	
◇ 転任			
H13.10.1	宮田 敬一	教授 (生活科学部)	教授 (新潟大学)
◇ 昇任			
H13.10.1	浅井 健一	助教授 (理学部)	助手 (東京大学)
H13.10.1	杉田 孝夫	教授 (生活科学部)	助教授 (生活科学部)
H13.10.1	加賀美 常美代	助教授 (留学生センター)	講師 (三重大学)
◇ 休職			
H13.10.2	渡部 亜矢子	育児休業 期間 平成14年3月31日	(理学部助手)
◇ 臨時的任用			
H13.10.2	川内 眞由美	助手 (理学部) 期間 平成14年3月31日	

◎非常勤職員

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
◇ 採用				
H13.9.1	武田 洋子	教務補佐員 (学生課)	H14.3.31	
H13.9.1	板垣 素子	臨時用務員 (附属幼稚園)	H14.3.31	
H13.9.1	頼澤 彩	教務補佐員 (生活科学部)	H14.3.31	
H13.9.1	遠藤 恭子	事務補佐員 (会計課)	H14.3.31	
H13.10.1	高屋敷 恭子	教務補佐員 (文教育学部)	H14.3.31	
H13.10.1	田中 たえ子	教務補佐員 (保健管理センター)	H14.3.31	
H13.10.1	藤田 智子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.1	町田 春子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.1	今泉 有喜	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.1	伊藤 純子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.1	東堂 衣紀	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.1	横山 雅代	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.1	家田 真由	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.1	小林 真紀恵	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.1	落合 綾	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.1	戸川 暖子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.1	細川 佐知子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.1	小山 葉子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.1	中武 真由香	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.1	近藤 光恵	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.1	志村 由美子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.1	仲江 真奈	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.1	稲田 七海	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.1	清水 聖子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.1	津田 聡美	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.1	辻野 史	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.1	末松 麻里央	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.1	笈川 文子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.1	織田 友恵	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.1	佐藤 祐子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.1	清水 千晶	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.1	齋藤 百江	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.1	三輪 公美	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.1	小原 みどり	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.9	根本 由香	教務補佐員 (生活科学部)	H14.3.31	
H13.10.9	和田 早苗	教務補佐員 (生活科学部)	H14.3.31	
H13.10.10	田浦 典子	教務補佐員 (大学院人間文化研究科)	H14.3.31	
H13.10.15	高梨 千恵	教務補佐員 (生活科学部)	H14.3.31	
H13.10.15	土肥 友恵	教務補佐員 (生活科学部)	H14.3.31	
H13.10.15	林 紀子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.15	向山 陽子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.15	尹 喜貞	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.15	西原 亜矢子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.15	谷口 陽子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.15	岩瀬 由佳	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.15	田川 めぐみ	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.15	本間 由香利	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.15	福本 まあや	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.15	小野 美紀子	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	H14.2.28	
H13.10.16	岩瀬 由佳	教務補佐員 (文教育学部)	H14.3.31	
H13.10.17	寶月 理恵	教務補佐員 (大学院人間文化研究科)	H14.3.31	
H13.10.17	紺野 香織	教務補佐員 (文教育学部)	H14.3.31	

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
◇ 任用更新				
H13.10.1	高屋敷 恭子	教務補佐員 (文教育学部)	H14.3.31	
◇ 退職				
H13.9.30	多賀 香織	教務補佐員 (文教育学部)		
H13.9.30	多賀 香織	教務補佐員 (大学院人間文化研究科)		
H13.9.30	柳 美也子	教務補佐員 (文教育学部)		
H13.9.30	中村 若生	教務補佐員 (ジェンダー研究センター)		
H13.10.31	加藤 厚子	教務補佐員 (大学院人間文化研究科)		
H13.10.31	野口 暁	教務補佐員 (大学院人間文化研究科)		

◎非常勤講師

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
◇ 採用				
H13.9.1	上田 実	講師 (大学院人間文化研究科)	H13.9.30	慶應義塾大学
H13.9.1	ウヰトフスキ・キザリ・ソ・マ	講師 (附属高等学校)	H14.3.31	
H13.9.1	坂本 衣里	講師 (附属幼稚園)	H14.3.31	
H13.9.10	吉田 美穂子	講師 (附属中学校)	H14.3.31	
H13.9.15	スィーブ・ソ・ジ・エ・ム・ソ・マ	講師 (附属中学校)	H14.3.31	
H13.9.27	横内 智子	講師 (附属小学校)	H13.11.7	
H13.10.1	大原 まゆみ	講師 (文教育学部)	H14.3.31	明治学院大学
H13.10.1	森田 朋子	講師 (文教育学部)	H14.3.31	
H13.10.1	平塚 眞樹	講師 (文教育学部)	H14.3.31	法政大学
H13.10.1	下仲 順子	講師 (文教育学部)	H14.3.31	文京女子大学
H13.10.1	石原 明美	講師 (文教育学部)	H14.3.31	
H13.10.1	大橋 さつき	講師 (文教育学部)	H14.3.31	
H13.10.1	大橋 二郎	講師 (文教育学部)	H14.3.31	大東文化大学
H13.10.1	柳谷 清道	講師 (文教育学部)	H14.3.31	
H13.10.1	鈴木 健司	講師 (理学部)	H14.3.31	
H13.10.1	田中 直子	講師 (理学部)	H14.3.31	帝京大学
H13.10.1	藤本 京子	講師 (理学部)	H14.3.31	川崎製鉄 (株) 技術研究所
H13.10.1	吉川 孝文	講師 (理学部)	H14.3.31	北里大学
H13.10.1	朽津 和幸	講師 (理学部)	H14.3.31	東京理科大学
H13.10.1	竹房 あつ子	講師 (理学部)	H14.3.31	
H13.10.1	塩谷 正樹	講師 (生活科学部)	H14.3.31	鹿島建設 (株) 技術研究所
H13.10.1	松原 洋子	講師 (生活科学部)	H14.3.31	
H13.10.1	阿部 隆明	講師 (生活科学部)	H14.3.31	自治医科大学
H13.10.1	榊原 彩子	講師 (生活科学部)	H14.3.31	
H13.10.1	西嶋 康一	講師 (生活科学部)	H14.3.31	自治医科大学
H13.10.1	浜谷 直人	講師 (生活科学部)	H14.3.31	東京都立大学
H13.10.1	久木元 真吾	講師 (生活科学部)	H14.3.31	(財) 家計経済研究所
H13.10.1	黒岩 容子	講師 (生活科学部)	H14.3.31	
H13.10.1	竹中 千春	講師 (生活科学部)	H14.3.31	明治学院大学
H13.10.1	千田 智子	講師 (生活科学部)	H14.3.31	
H13.10.1	藤井 享子	講師 (生活科学部)	H14.3.31	
H13.10.1	梅谷 知世	講師 (生活科学部)	H14.3.31	
H13.10.1	川野 仁	講師 (大学院人間文化研究科)	H14.3.31	(財) 東京都医学研究機構 東京都神経科学総合研究所
H13.10.1	伊藤 直文	講師 (大学院人間文化研究科)	H14.3.31	大正大学
H13.10.1	牛島 定信	講師 (大学院人間文化研究科)	H14.3.31	東京慈恵会医科大学精神医学教室
H13.10.1	永井 朋子	講師 (研究機関研究員) (生活環境研究センター)	H14.3.31	
H13.10.1	高木 紘二郎	講師 (附属中学校)	H14.3.31	
H13.10.1	小林 三佳	講師 (附属中学校)	H14.3.31	
H13.10.1	竹村 朝子	講師 (附属中学校)	H14.3.31	
H13.10.1	田中 陽子	講師 (附属中学校)	H14.3.31	
H13.10.15	武田 知子	講師 (附属中学校)	H14.3.31	
H13.10.15	本林 響子	講師 (附属中学校)	H14.3.31	
H13.10.29	石坂 仁美	講師 (附属幼稚園)	H14.3.15	

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
◇ 任用更新				
H13.10.1	岡村 多佳夫	講師 (文教育学部)	H14.3.31	東京造形大学
H13.10.1	小林 一枝	講師 (文教育学部)	H14.3.31	
H13.10.1	秋山 喜代子	講師 (文教育学部)	H14.3.31	
H13.10.1	石原 圭子	講師 (文教育学部)	H13.9.30	東海大学
H13.10.1	寄藤 昂	講師 (文教育学部)	H14.3.31	中京女子大学
H13.10.1	兼重 賢太郎	講師 (文教育学部)	H14.3.31	(財)計量計画研究所
H13.10.1	山脇 啓造	講師 (文教育学部)	H14.3.31	明治大学
H13.10.1	須田 昌弥	講師 (文教育学部)	H14.3.31	青山学院大学
H13.10.1	谷川 尚哉	講師 (文教育学部)	H13.9.30	中央学院大学
H13.10.1	黒沢 学	講師 (文教育学部)	H13.9.30	東京電機大学
H13.10.1	椎野 信雄	講師 (文教育学部)	H14.3.31	文教大学
H13.10.1	岡崎 友典	講師 (文教育学部)	H14.3.31	放送大学学園
H13.10.1	宮坂 琇子	講師 (文教育学部)	H14.3.31	東海大学
H13.10.1	青木 豊	講師 (文教育学部)	H14.3.31	國學院大學考古学資料館
H13.10.1	藤本 典裕	講師 (文教育学部)	H14.3.31	東洋大学
H13.10.1	矢口 悦子	講師 (文教育学部)	H14.3.31	山脇学園短期大学
H13.10.1	矢野 博之	講師 (文教育学部)	H14.3.31	
H13.10.1	原田 悦子	講師 (文教育学部)	H14.3.31	法政大学
H13.10.1	星野 征男	講師 (文教育学部)	H14.3.31	
H13.10.1	明田 芳久	講師 (文教育学部)	H14.3.31	上智大学
H13.10.1	鳥居 俊	講師 (文教育学部)	H14.3.31	早稲田大学
H13.10.1	美山 良夫	講師 (文教育学部)	H14.3.31	慶應義塾大学
H13.10.1	明尾 真弓	講師 (文教育学部)	H14.3.31	
H13.10.1	武石 みどり	講師 (文教育学部)	H14.3.31	東京音楽大学
H13.10.1	川村 友美	講師 (理学部)	H14.3.31	
H13.10.1	池田 和正	講師 (理学部)	H14.3.31	
H13.10.1	本間 裕子	講師 (理学部)	H14.3.31	
H13.10.1	車 俊之	講師 (理学部)	H14.3.31	
H13.10.1	大下 範幸	講師 (理学部)	H14.3.31	
H13.10.1	久保木 倫子	講師 (理学部)	H14.3.31	
H13.10.1	薬袋 佳孝	講師 (理学部)	H14.3.31	武蔵大学
H13.10.1	熊倉 鴻之助	講師 (理学部)	H14.3.31	上智大学
H13.10.1	溝口 元	講師 (理学部)	H14.3.31	立正大学
H13.10.1	遠山 元道	講師 (理学部)	H14.3.31	慶應義塾大学
H13.10.1	大山 秀子	講師 (生活科学部)	H14.3.31	
H13.10.1	入江 正之	講師 (生活科学部)	H14.3.31	早稲田大学
H13.10.1	伊藤 夏子	講師 (生活科学部)	H14.3.31	
H13.10.1	山口 静子	講師 (生活科学部)	H14.3.31	東京農業大学
H13.10.1	小野寺 義幸	講師 (生活科学部)	H13.9.30	
H13.10.1	真家 和生	講師 (生活科学部)	H13.9.30	大妻女子大学
H13.10.1	斉藤 こずゑ	講師 (生活科学部)	H14.3.31	國學院大学
H13.10.1	加藤 敏	講師 (生活科学部)	H13.9.30	自治医科大学
H13.10.1	柿沼 昌芳	講師 (生活科学部)	H14.3.31	
H13.10.1	高野 謙二	講師 (生活科学部)	H13.9.30	自治医科大学
H13.10.1	柴崎 正行	講師 (生活科学部)	H13.9.30	東京家政大学短期大学部
H13.10.1	上垣内 伸子	講師 (生活科学部)	H14.3.31	十文字学園女子短期大学
H13.10.1	西本 絹子	講師 (生活科学部)	H13.9.30	
H13.10.1	日笠 摩子	講師 (生活科学部)	H14.3.31	大正大学
H13.10.1	安田 憲司	講師 (生活科学部)	H13.9.30	特殊法人国民生活センター
H13.10.1	白井 和恵	講師 (生活科学部)	H14.3.31	相模女子大学短期大学部学
H13.10.1	油井 雄二	講師 (生活科学部)	H13.9.30	成城大学
H13.10.1	高橋 和夫	講師 (生活科学部)	H14.3.31	放送大学学園
H13.10.1	島 悟	講師 (大学院人間文化研究科)	H13.9.30	東京経済大学
H13.10.1	清木 康	講師 (大学院人間文化研究科)	H13.9.30	慶應義塾大学

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
◇ 併任				
H13.9.25	福田 光完	講師 (生活科学部)	H14.3.31	兵庫教育大学教授
H13.10.1	柴田 徳太郎	講師 (文教育学部)	H14.3.31	東京大学大学院経済学研究科教授
H13.10.1	若林 幹夫	講師 (文教育学部)	H14.3.31	筑波大学社会科学系助教
H13.10.1	菊地 栄治	講師 (文教育学部)	H14.3.31	国立教育政策研究所総括研究官
H13.10.1	船橋 一男	講師 (文教育学部)	H14.3.31	埼玉大学助教
H13.10.1	大多和 直樹	講師 (文教育学部)	H14.3.31	東京大学大学院教育学研究科助手
H13.10.1	藤井 佐知子	講師 (文教育学部)	H14.3.31	宇都宮大学助教
H13.10.1	西野 真由美	講師 (文教育学部)	H14.3.31	国立教育政策研究所総括研究官
H13.10.1	長谷川 寿一	講師 (文教育学部)	H14.3.31	東京大学大学院総合文化研究科教授
H13.10.1	南風原 朝和	講師 (文教育学部)	H14.3.31	東京大学大学院教育学研究科助教
H13.10.1	森 司朗	講師 (文教育学部)	H14.3.31	東京学芸大学助教
H13.10.1	小野 康男	講師 (文教育学部)	H14.3.31	横浜国立大学助教
H13.10.1	林 利彦	講師 (理学部)	H14.3.31	東京大学大学院総合文化研究科教授
H13.10.1	井尻 憲一	講師 (理学部)	H14.3.31	東京大学大学院総合文化研究科助教
H13.10.1	守 隆夫	講師 (理学部)	H14.3.31	東京大学大学院理学系研究科教授
H13.10.1	菅原 康剛	講師 (理学部)	H14.3.31	埼玉大学教授
H13.10.1	河原 正治	講師 (理学部)	H14.3.31	筑波技術短期大学講師
H13.10.1	吉田 稔	講師 (理学部)	H14.3.31	電気通信大学助教
H13.10.1	三宅 洋一	講師 (理学部)	H14.3.31	千葉大学教授
H13.10.1	鷹野 澄	講師 (理学部)	H14.3.31	東京大学地震研究所助教
H13.10.1	本位田 真一	講師 (理学部)	H14.3.31	国立情報学研究所教授
H13.10.1	高井 貴子	講師 (生活科学部)	H14.3.31	東京大学医科学研究所助手
H13.10.1	植田 信太郎	講師 (生活科学部)	H14.3.31	東京大学大学院理学系研究科助教
H13.10.1	西 敏夫	講師 (生活科学部)	H14.3.31	東京大学大学院工学系研究科教授
H13.10.1	谷田貝 麻美子	講師 (生活科学部)	H14.3.31	千葉大学助教
H13.10.1	山中 英明	講師 (生活科学部)	H14.3.31	東京水産大学教授
H13.10.1	西村 敏英	講師 (生活科学部)	H14.3.31	広島大学教授
H13.10.1	佐藤 俊	講師 (生活科学部)	H14.3.31	筑波大学歴史・人類学系教授
H13.10.1	大塚 柳太郎	講師 (生活科学部)	H14.3.31	東京大学大学院医学系研究科教授
H13.10.1	秋田 喜代美	講師 (生活科学部)	H14.3.31	東京大学大学院教育学研究科助教
H13.10.1	恒吉 僚子	講師 (生活科学部)	H14.3.31	東京大学大学院教育学研究科助教
H13.10.1	内野 正幸	講師 (生活科学部)	H14.3.31	筑波大学社会科学系教授
H13.10.1	伊藤 博明	講師 (生活科学部)	H14.3.31	埼玉大学教授
H13.10.1	山本 智	講師 (理学部)	H14.3.31	東京大学大学院理学系研究科助教
H13.10.1	小形 正男	講師 (理学部)	H14.3.31	東京大学大学院理学系研究科教授
H13.10.1	常行 真司	講師 (理学部)	H14.3.31	東京大学大学院物性研究所助教
H13.10.1	平岡 賢三	講師 (生活科学部)	H14.3.31	山梨大学教授
H13.10.1	西原 清一	講師 (生活科学部)	H14.3.31	筑波大学電子・情報工学系教授
H13.10.1	尾畑 伸明	講師 (生活科学部)	H14.3.31	東北大学大学院情報科学研究科教授
H13.10.15	藤井 晴行	講師 (理学部)	H14.3.31	東京工業大学助教

発令年月日	氏名	官職等	任期	備考
◇ 兼担				
H13.10.1	吉原 雅子	講師 (文教育学部)	H14.3.31	助手 (大学院人間文化研究科)
H13.10.1	加賀美 常美代	講師 (文教育学部)	H14.3.31	助教授 (留学生センター)
H13.10.1	森山 新	講師 (文教育学部)	H14.3.31	助教授 (留学生センター)
H13.10.1	福田 正恒	講師 (文教育学部)	H14.3.31	附属中学校教諭
H13.10.1	松木 正子	講師 (文教育学部)	H14.3.31	附属小学校教諭
H13.10.1	長坂 利厚	講師 (文教育学部)	H14.3.31	附属小学校教諭
H13.10.1	磯貝 文男	講師 (理学部)	H14.3.31	附属高等学校教諭
H13.10.1	石井 朋子	講師 (理学部)	H14.3.31	附属高等学校教諭
H13.10.1	佐藤 道幸	講師 (理学部)	H14.3.31	附属中学校教諭
◇ 退職				
H13.10.1	川内 真由美	講師 (理学部)		
◇ 連携				
H13.10.1	横山 學	講師 (大学院人間文化研究科 教授) 任期 平成14年3月31日		ノートルダム清心女子大学教授
H13.10.1	関谷 剛男	講師 (大学院人間文化研究科 教授) 任期 平成14年3月31日		科学技術振興事業団領域総括

◎ 外国人研究員

発令年月日	氏名	契約期間	異動区分
H13.4.4	マッキー・ヴェラ・クリスティーヌ	新規 H13. 10. 3~14. 3. 8	契約

学 事

○平成14年度お茶の水女子大学文教育学部第3年次編入学 (社会人特別選抜を含む) 学生募集要項

お茶の水女子大学文教育学部では、広く社会に開かれたリフレッシュ教育の必要性、より高度の学習機会を求める女性の意欲の高まりに応えるため、平成8年度から下記のとおり、一般選抜並びに社会人特別選抜により、第3年次編入学生の募集をしています。

本学部は、人文科学・社会科学（一部自然科学を含む）の諸領域にわたる多彩な専門的研究成果を、総合的な視野から教授し、社会の諸分野で活躍する人材の育成に努めることを教育の基本方針としています。各学科が求める資質と能力を備え、強い学習意欲をもつ方々が、自己実現を目指した生涯学習の機会として利用されることを期待します。

I. 一般選抜

1. 募集人員

学 科 ・ コ ー ス		募 集 人 員
人 文 学 科	哲学・倫理学・美術史コース	社会人特別選抜 とあわせて 10名
	比較歴史学コース	
	地理学コース	
言 語 文 化 学 科	日本語・日本文学コース	
	中国語圏言語文化コース	
	英語圏言語文化コース	
	仏語圏言語文化コース	
人 間 社 会 学 科	社会学コース	
	教育学コース	
	心理学コース	
芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科	舞踊教育学コース	
	音楽表現コース	

2. 出願資格

次のいずれかに該当する女子とする。

- (1) 大学を卒業した者及び平成14年3月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者及び平成14年3月卒業見込みの者
- (3) 高等専門学校を卒業した者及び平成14年3月卒業見込みの者
- (4) 平成14年3月31日までに本学以外の大学に2年以上在学している者で62単位以上修得見込みの者
- (5) 大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者
(平成14年3月本学卒業見込みの者以外で本学に在学中の者は除く。)
- (6) 外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者及び修了見込みの者

3. 出願期間

平成13年11月5日(月)から平成13年11月9日(金)まで。(11月9日までの消印有効)

4. 出願手続

(1) 出願書類等

編入学願書	本学所定の用紙
履歴書	本学所定の用紙
志望理由書	本学所定の用紙
実技関係調査書	芸術・表現行動学科音楽表現コース志願者のみ本学所定の用紙で提出すること。
卒業(見込)証明書、在学証明書、退学証明書のうちいずれか1通	
成績証明書	出身大学等の長が作成し厳封したもの。
単位修得見込証明書	(大学2・3年次在学中の者のみ) 出身大学で作成していない場合は、履修登録科目一覧表等の単位数の記載されているもののコピーでも可。
健康診断書	本学所定の用紙(出願時以前3ヶ月以内に作成したもの) 現在、大学・短大・高等専門学校等に在学中の者は、学校医による証明でも可とする。
検定料	30,000円〔郵便局振出しの普通為替証書(受取人指定欄に「お茶の水大学 大学」とのみ記入すること。)]
受験票返送用封筒	本学所定の受験票返送用封筒に送付先を明記して、350円分の切手(速達料を含む。)を貼ること。
あて名シール2枚	結果通知の送付に使用するので、確実に連絡がとれる住所を記入すること。

(2) 出願方法

出願書類を一括して、必ず本学所定の出願用封筒を用い、「書留速達」で下記あてに郵送すること。

〔送付先〕 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学 入試課

5. 選 抜 方 法

選考は、次の第1次・第2次に分けて行う。

(1) 第 1 次 選 考

試 験 日 平成13年11月29日(木)

時 間 割

学 科		筆 記 試 験 10:30~12:00
人 文 学 科	哲学・倫理学・美術史コース	外国語(英・独・仏語の中から1か国語)を含む専門試験
	比較歴史学コース	英語を含む専門試験
	地理学コース	英語を含む専門試験
言 語 文 化 学 科	日本語・日本文学コース	国語・国文学の専門試験
	中国語圏言語文化コース	現代中国語・古典中国語
	英語圏言語文化コース	英 語
	仏語圏言語文化コース	フランス語
人 間 社 会 学 科	社会学コース	英語を含む専門試験
	教育学コース	英語を含む専門試験
	心理学コース	英語を含む専門試験・基礎統計学
芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科	舞踊教育学コース	英語を含む専門試験
	音楽表現コース	音楽史・外国語(英・独・仏語の中から1か国語)

(注) 第1次選考の結果は、平成13年12月10日(月)までに、その合格者には「第1次選考合格通知書」を、合格とならなかった者には「第1次選考結果通知書」を送付する。

(2) 第 2 次 選 考

試 験 日 平成13年12月14日(金) 10時30分 ~

第1次選考合格者に対し、志望学科による口述試験及び実技検査(芸術・表現行動学科のみ)を行い、第1次選考の成績と口述及び実技検査の結果を総合して合否を判定する。

実 技 検 査

- 芸術・表現行動学科「舞踊教育学コース」志望者に次の検査を行う。

1 必須課題

- ア. 舞踊・スポーツに必要な身体支配能力を見るための基礎運動
イ. 面接

2 選択課題

下記のア、イのいずれかを選択すること。

ア. 舞 踊（下記の①と②を行う。）

- ① 既成作品：モダンダンス、バレエ、日本舞踊、民族舞踊や、マイム、新体操などの表現領域から作品を自由に選択し、1分以内に演じる。自作・他作どちらでも可。使用する音楽（カセットテープに録音のこと）を持参のこと。

- ② 創 作：課題は当日提示する。

イ. スポーツ（下記の①から③の全種目を行う。）

- ①バレーボール
②バスケットボール
③テニス（硬式）

※ 実技検査に必要な服装、用具、靴（体育館シューズ及び各自選択課題に必要な靴）を持参のこと。

- 芸術・表現行動学科「音楽表現コース」志望者に次の検査を行う。

1. 必須課題

ア. 聴 音 : 1～2声部

イ. 新曲視唱 : 旋律のみ

ウ. 歌 唱 : イタリア古典歌曲（原語）より1曲自由選択し、暗譜で演奏すること。

なお、歌唱は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない）

エ: ピアノ : J. S. バッハ作曲の鍵盤音楽（3分以内）より1曲を自由選択し、暗譜で演奏すること。

2. 選択課題

次のア、イ、ウのいずれか一つを選ぶこと。

ア. 声楽演奏

下記のいずれか一方を選び、暗譜で演奏すること。

- ① 日本歌曲

- ② アリア（原語・原調）または外国歌曲（原語）

なお、声楽演奏は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない）

イ. ピアノ演奏

下記のいずれか一方を選び、暗譜で演奏すること。

- ① ベートーヴェンのピアノソナタから一つの楽章を自由選択（ただし、緩徐楽章を除く）

- ② ショパンのピアノ練習曲集（作品10, 作品25）から2曲を自由選択

ウ. 声または任意の楽器による演奏

音楽様式は問わない（邦楽器、洋楽器など）

演奏に関する質疑応答を行う。楽譜使用可。演奏は受験者本人のみに限る。

II. 社会人特別選抜

1. 募集人員

学 科 ・ コ ー ス		募 集 人 員
人 文 科 学 科	哲学・倫理学・美術史コース	一般選抜と あわせて 10名
	比較歴史学コース	
	地理学コース	
言 語 文 化 学 科	日本語・日本文学コース	
	中国語圏言語文化コース	
	英語圏言語文化コース	
	仏語圏言語文化コース	
人 間 社 会 科 学 科	社会学コース	
	教育学コース	
	心理学コース	
芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科	舞踊教育学コース	
	音楽表現コース	

2. 出 願 資 格

入学時までには社会人としての経験を3年以上有し、次のいずれかに該当する女子とする。

- (1) 大学を卒業した者又は大学に2年以上在籍し、62単位以上修得した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 高等専門学校を卒業した者
- (4) 外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者

3. 出 願 期 間

平成13年11月5日(月)から平成13年11月9日(金)まで。(11月9日までの消印有効)

4. 出願手続

(1) 出願書類等

編入学願書	本学所定の用紙
履歴書	本学所定の用紙
志望理由書	本学所定の用紙。社会人としての活動（収入を伴わない活動を含む）と関連させて志望動機を書くこと。
実技関係調査書	芸術・表現行動学科音楽表現コース志願者のみ本学所定の用紙で提出すること。
卒業証明書又は 在籍証明書	在籍証明書の場合は、大学に2年以上在籍していたことが判るもの。
成績証明書	出身大学等の長が作成し厳封したもの
健康診断書	本学所定の用紙（出願時以前3ヶ月以内に作成したもの）
在職証明書	在職中の者は在職証明書を提出すること。（様式は特に定めない）
検定料	30,000円〔郵便局振出しの普通為替証書（受取人指定欄に「お茶の水大学 大学」とのみ記入すること。）〕
受験票返送用封筒	本学所定の受験票返送用封筒にあて先を明記して、350円分の切手（速達料を含む。）を貼ること。
あて名シール2枚	結果通知の送付に使用するので、確実に連絡がとれる住所を記入すること。

(2) 出願方法

出願書類を一括して、必ず本学所定の封筒を用い、「書留速達」で下記あてに郵送すること。

〔送付先〕 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学 入試課

5. 選 抜 方 法

選考は、次の第1次・第2次に分けて行う。

(1) 第 1 次 選 考

試 験 日 平成13年11月29日(木)

時 間 割

学 科		筆 記 試 験 10:30~12:00
人 文 学 科	哲学・倫理学・美術史コース	外国語(英・独・仏語の中から1か国語)を含む専門試験
	比較歴史学コース	英語を含む専門試験
	地 理 学 コ ー ス	英語を含む専門試験
言 語 文 化 学 科	日本語・日本文学コース	国語・国文学の専門試験
	中国語圏言語文化コース	現代中国語・古典中国語
	英語圏言語文化コース	英 語
	仏語圏言語文化コース	フランス語
人 間 社 会 学 科	社 会 学 コ ー ス	英語を含む専門試験
	教 育 学 科 コ ー ス	英語を含む専門試験
	心 理 学 コ ー ス	英語を含む専門試験・基礎統計学
芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科	舞 踊 教 育 学 コ ー ス	英語を含む専門試験
	音 楽 表 現 コ ー ス	音楽史・外国語(英・独・仏語の中から1か国語)

※ 第1次選考の結果は、平成13年12月10日(月)までに、その合格者には「第1次選考合格通知書」を、合格とならなかった者には「第1次選考結果通知書」を送付する。

(2) 第 2 次 選 考

試 験 日 平成13年12月14日(金) 10時30分～

第1次選考合格者に対し、志望学科による口述試験及び実技検査(芸術・表現行動学科のみ)を行い、第1次選考の成績と口述及び実技検査の結果を総合して合否を判定する。

実 技 検 査

- 芸術・表現行動学科「舞踊教育学コース」志望者に次の検査を行う。

1 必須課題

- ア. 舞踊・スポーツに必要な身体支配能力を見るための基礎運動
イ. 面接

2 選択課題

下記のア、イのいずれかを選択すること。

ア. 舞 踊（下記の①と②を行う。）

- ① 既成作品：モダンダンス、バレエ、日本舞踊、民族舞踊や、マイム、新体操などの表現領域から作品を自由に選択し、1分以内に演じる。自作・他作どちらでも可。使用する音楽（カセットテープに録音のこと）を持参のこと。

- ② 創 作：課題は当日提示する。

イ. スポーツ（下記の①から③の全種目を行う。）

- ①バレーボール
②バスケットボール
③テニス（硬式）

※ 実技試験に必要な服装、用具、靴（体育館シューズ及び各自選択課題に必要な靴）を持参のこと。

- 芸術・表現行動学科「音楽表現コース」志望者に次の検査を行う。

1. 必須課題

ア. 聴 音 : 1～2声部

イ. 新曲視唱 : 旋律のみ

ウ. 歌 唱 : イタリア古典歌曲（原語）より1曲自由選択し、暗譜で演奏すること。

なお、歌唱は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない）

エ. ピアノ : J. S. バッハ作曲の鍵盤音楽（3分以内）より1曲を自由選択し、暗譜で演奏すること。

2. 選択課題

次のア、イ、ウのいずれか一つを選ぶこと。

ア. 声楽演奏

下記のいずれか一方を選び、暗譜で演奏すること。

- ① 日本歌曲
② アリア（原語・原調）または外国歌曲（原語）

なお、声楽演奏は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない）

イ. ピアノ演奏

下記のいずれか一方を選び、暗譜で演奏すること。

- ① ベートーヴェンのピアノソナタから一つの楽章を自由選択（ただし、緩徐楽章を除く）
② ショパンのピアノ練習曲集（作品10、作品25）から2曲を自由選択

ウ. 声または任意の楽器による演奏

音楽様式は問わない（邦楽器、洋楽器など）

演奏に関する質疑応答を行う。楽譜使用可。演奏は受験者本人のみに限る。

Ⅲ. 合格発表等

1. 合格者の発表

(1) 平成13年12月18日(火)正午の予定。

学内本部棟前掲示板に掲示するとともに合格者には、「合格通知書」を、合格とならなかった者には「結果通知書」を送付する。

(2) 入学手続関係書類は、平成14年2月中旬に送付する。

入学手続きは3月上旬に郵送により行う。

(注) 電話等による合否の問い合わせには一切応じない。

2. 入学料及び授業料

(1) 入学料 282,000円

(2) 授業料年額 496,800円 (在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用される。)

3. 修学条件

入学の時期は平成14年4月とし、編入学後2年以上4年以内に本学文教育学部履修規程に定める授業科目を履修し、卒業に必要な単位を修得した者については、学士(人文科学)の学位を授与する。

4. 注意事項

(1) 出願後、書類の変更及び検定料の払戻は行わない。

(2) 別途、この『文教育学部第3年次編入学学生募集要項』を請求する場合は、返信用の封筒(角型2号23.9 cm×33.1cm)に宛名を明記し、200円分の切手を貼ったものを同封し、請求する封筒の表に『文教育学部第3年次編入学学生募集要項請求』と朱書のうえ、請求してください。

5. 「大学案内」の請求

文教育学部の各学科・コース等の紹介は、「お茶の水女子大学大学案内」に記載されている。

「大学案内」の送付を希望する場合は、返信用の封筒(角型2号23.9 cm×33.1cm)に宛名を明記を明記し、390円分の切手を貼ったものを同封し、請求する封筒の表に「大学案内請求」と朱書きのうえ、請求してください。

また、インターネットの入試課ホームページからでも請求できるのでご利用ください。

〔請求先〕 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学入試課

6. 出願状況

出願状況は、平成13年11月6日(火)から本学入試課ホームページ内で公表することを予定している。

お茶の水女子大学入試課ホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

○平成14年度お茶の水女子大学生生活科学部第3年次編入学学生募集要項

お茶の水女子大学生生活科学部では、平成8年度から第3年次編入学試験を実施しています。

本学部では、社会における女性の地位向上と相まって要請されている、高度な学識と広い視野を持つ女子学生の育成を目指してきました。高等教育の多様化の一環として、既に社会人として活躍している方々のリカレント教育や、短期大学及び高等専門学校を卒業して、更に深い専門知識を求めようとする方々へ、より高度な生活科学の専門教育の機会を提供することがこの制度の趣旨です。

1. 募集人員

学 科	募集人員
生活環境学科	} 10名
人間生活学科	

2. 出願資格

次のいずれかに該当する女子とする。

- (1)大学を卒業した者及び平成14年3月卒業見込みの者
- (2)短期大学を卒業した者及び平成14年3月卒業見込みの者
- (3)高等専門学校を卒業した者及び平成14年3月卒業見込みの者
- (4)平成14年3月31日までに本学以外の大学に2年以上在学している者で62単位以上修得見込みの者
- (5)大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者
(平成14年3月本学卒業見込みの者以外で本学に在学中の者は除く。)
- (6)外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者及び修了見込みの者

3. 出願期間

平成13年10月18日(木)から平成13年10月24日(水)まで。(10月24日までの消印有効)

4. 出願手続

(1) 出願書類等

編入学願書	本学所定の用紙
志望理由書	本学所定の用紙
卒業(見込)証明書、又は在学証明書	
成績証明書(履修中の科目も記載すること。)	
健康診断書	本学所定の用紙(出願時以前3ヶ月以内に作成したもの) 現在、大学・短大・高等専門学校等に在学中の者は、学校医による証明でも可とする。
検定料	30,000円〔郵便局振出しの普通為替証書(受取人指定欄に「お茶の水女子大学」とのみ記入すること。)]
受験票返送用封筒	本学所定の受験票返送用封筒に送付先を明記して、350円分の切手(速達料を含む。)を貼ること。
あて名シール2枚	結果通知の送付に使用するので、確実に連絡がとれる住所を記入すること。

(2) 出願方法

志願者は、出願書類を一括して、本学所定の出願用封筒を用い、必ず「書留速達」で本学入試課宛に郵送すること。

[送付先] 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号 お茶の水女子大学 入試課

5. 選 抜 方 法

学力検査（筆記試験）及び成績証明書等を総合して、第1次選考合格者を判定し、第1次選考合格者に第2次選考（面接試験）を行って最終合格者を決定する。

○第1次選考（筆記試験） 平成13年11月7日（水）

時 間 割

学 科	試 験 科 目	時 間
生活環境学科	英語（一般） 自然科学☆	9：30～12：00
人間生活学科	英語（一般） 人文・社会科学★	9：30～12：00

☆ 物理学、化学、生物学等に関する基礎知識

★ 人文科学、社会科学、心理学等に関する基礎知識

○第2次選考（面接試験） 平成13年11月30日（金）

6. 合格者の発表

- (1) 第1次選考合格発表 平成13年11月21日（水）までに、その合格者には、第1次選考合格通知書を、合格とならなかった者には、第1次選考結果通知書を送付する。
- (2) 第2次試験合格発表 平成13年12月6日（木）正午の予定。学内本部棟前掲示板に掲示するとともに合格者には、「合格通知書」を、合格とならなかった者には、「結果通知書」を送付する。
入学手続関係書類は、合格通知書と一緒に送付する。入学手続きは平成13年12月中旬に郵送により行う。

(注) 電話等による可否の問い合わせには一切応じない。

7. 入学料及び授業料

- (1) 入 学 料 282,000円
- (2) 授業料年額 496,800円 (在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用される。)

8. 修 学 条 件

入学の時期は平成14年4月とし、編入学後2年以上4年以内に本学生活科学部履修規程に定める授業科目を履修し、卒業に必要な単位を修得した者については、学士（生活科学）の学位を授与する。

9. 注 意 事 項

- (1) 出願後、書類の変更及び検定料の払戻は行わない。
- (2) 別途、この『生活科学部第3年次編入学学生募集要項』を請求する場合は、返信用の封筒（角型2号23.9cm×33.1cm）に宛名を明記し200円分の切手を貼ったものを同封し、請求する封筒の表に『生活科学部第3年次編入学学生募集要項請求』と朱書のうえ、請求してください。

10. 「大学案内」の請求

生活科学部の各学科・講座等の紹介は、「お茶の水女子大学大学案内」に記載されている。「大学案内」の送付を希望する場合は、返信用の封筒（角型2号23.9cm×33.1cm）に宛名を明記し、390円分の切手を貼ったものを同封し、請求する封筒の表に「大学案内請求」と朱書きのうえ、請求してください。また、インターネットの入試課ホームページからも請求できるのでご利用ください。

〔請 求 先〕 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号 お茶の水女子大学 入試課

11. 出 願 状 況

出願状況は、平成13年10月19日（金）から本学入試課ホームページ内で公表することを予定している。

お茶の水女子大学入試課ホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

○平成14年度お茶の水女子大学特別選抜学生募集要項
(推薦入学、帰国子女・外国学校出身者特別選抜)

Ⅰ 推薦入学学生募集要項

1. 学部・学科別募集人員

学 部	学 科	募 集 人 員
文 教 育 学 部	人 文 科 学 科	入学定員のうち 12名
	言 語 文 化 学 科	入学定員のうち 8名
理 学 部	人 間 社 会 科 学 科	入学定員のうち 5名
	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科	入学定員のうち 3名
	「舞踊教育学コース」	入学定員のうち 3名
	「音楽表現コース」	入学定員のうち 3名
生 活 科 学 部	数 学 科	入学定員のうち 4名
	物 理 学 科	入学定員のうち 3名
	化 学 科	入学定員のうち 3名
	生 物 学 科	入学定員のうち 4名
	情 報 科 学 科	入学定員のうち 10名
生 活 科 学 部	生 活 環 境 学 科	入学定員のうち 9名
	人 間 生 活 学 科	入学定員のうち 12名

2. 出願資格及び推薦の要件

文 教 育 学 部	平成13年度中に高等学校(中等教育学校を含む。)を卒業又は卒業見込みの女子で、高等学校長が、以下の要件に該当すると認め、責任をもって推薦できる者。	
	人 文 科 学 科	次の①又は②のいずれかに該当する者 ①調査書の学習成績概評が㊦の者 ②人文科学科で学ぶことのできる専門領域について、特に優れた能力と強い関心を有する者
	言 語 文 化 学 科	次の①又は②のいずれかに該当する者 ①調査書の学習成績概評が㊦の者 ②日本文学、日本語学において特に優れた能力と意欲を有する者
	人 間 社 会 科 学 科	次の①と②の双方に該当する者 ①調査書の学習成績概評がA以上の者 ②教育科学(人間社会科学科のアドミッション・ポリシーを参照)の勉学に強い意欲を有する者
理 学 部	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科	次の①又は②のいずれかに該当する者 ①調査書の学習成績概評が㊦の者 ②「舞踊教育学コース」 舞踊又は体育において特に優れた能力と意欲を有する者 「音楽表現コース」 音楽において特に優れた能力と意欲を有する者
	平成13年度中に高等学校(中等教育学校を含む。)を卒業又は卒業見込みの女子で、真理の探究に対し強い憧憬と意欲を抱き、かつ、高等学校長が次の①又は②のいずれかに該当すると認め、責任をもって推薦できる者 ① 調査書の学習成績概評が㊦の者 ② 志望学科に関連する科目において特に優れた能力と意欲を有する者	
生 活 科 学 部	平成13年度中に高等学校(中等教育学校を含む。)を卒業又は卒業見込みの女子で、真理の探究に対し強い憧憬と意欲を抱き、かつ、高等学校長が次の①又は②のいずれかに該当すると認め、責任をもって推薦できる者 ① 調査書の学習成績概評が㊦の者 ② 志望学科における各専門領域の勉学に強い意欲を有する者	

(注) 推薦を行う者については、高等学校長のほか高等専門学校長及び高等部を置く盲・聾・養護学校長並びに文部科学大臣から高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定された在外教育施設の長を含む。

3. 出願書類等

推薦入学願書	本学所定の用紙
調査書	高等学校長が作成し、厳封したもの。
推薦書	本学所定の用紙に、高等学校長が作成し、厳封したもの。
志望理由書	本学所定の用紙
実技関係調査書	文教育学部芸術・表現行動学科を志願する者のみ本学所定の用紙で提出すること。
検定料	17,000円 [郵便局振出しの普通為替証書(受取人指定欄に「お茶の水女子大学」とのみ書くこと。)] 注) 1 第1次選考の不合格者に対しては、13,000円を返還する。 2 上記の1に該当する者は、平成14年3月29日までに申し出ること。(返還手続きの方法は第1次選考の結果とともに通知する。) なお、上記1の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しない。
受験票返送用封筒	本学所定の受験票返送用封筒に送付先を明記して、350円分の切手(速達料を含む。)を貼ること。
あて名シール2枚	結果通知の送付に使用するので、確実に連絡が取れる住所を記入すること。

(注) 「理学部物理学科」の推薦入学志願者については、上記の「志望理由書」の補足資料(例えば、自由研究レポート、実験ノート、これまでこだわりを持ち続けたテーマについて考えをまとめたノート等)があれば、そのコピーを添付してもよい。

4. 出願上の注意

- (1) 国公立大学の推薦入学(大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて)は1つの大学・学部しか出願できない。
- (2) 出願後の志望学部・学科等の変更は認めない。
- (3) 出願書類不備の場合は受理しない。また、一旦受理した書類は返却しない。

5. 出願方法

出願書類の提出は、本学所定の封筒を用い、必ず書留速達で下記あてに郵送すること。

(注) 本学では出願書類を受理したときは、直ちに「受験票」を送付するので出願書類発送後、7日間経っても未着のときは出願書類送付先に問い合わせること。

[送付先] 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学 入試課
電話 03-5978-5151

6. 出願期間

平成13年10月29日(月)～11月2日(金) (締切日までの消印があれば有効)

7. 選 抜 方 法

選考は、次の第1次・第2次に分けて行う。

① 第 1 次 選 考

文 教 育 学 部 理 学 部 生 活 学 部	出願書類による書類選考を行い、平成13年11月21日（水）までに、その合格者には、「第1次選考合格通知書（第2次選考試験集合日時併記）」を、合格とならなかった者には、「第1次選考結果通知書」及び「検定料返還金請求書」を送付する。
-------------------------------	--

② 第 2 次 選 考

文 教 育 学 部	人 文 学 科 言 語 文 化 学 科 人 間 社 会 学 科	第1次選考合格者に対し、志望学科による小論文を平成13年11月29日（木）に、面接（口頭試問を含む。）を11月30日（金）に行い、書類選考、小論文、面接の結果を総合して合否を判定する。
	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科 舞 踊 教 育 学 コー ス 音 楽 表 現 コー ス	第1次選考合格者に対し、志望学科による小論文及び実技検査を平成13年11月29日（木）に、面接（口頭試問を含む。）を11月30日（金）に行い、本学の必修科目を受講するのに必要な能力を基準として、書類選考、小論文、面接及び実技検査の結果を総合して合否を判定する。
	理 学 部	第1次選考合格者に対し、志望学科による小論文（生物学科のみ）と面接（口頭試問を含む。）を平成13年11月29日（木）に行い、書類選考及び小論文・面接の結果を総合して合否を判定する。
	生 活 学 部	第1次選考合格者に対し、志望学科による面接（口頭試問を含む。）を平成13年11月29日（木）に行い、書類選考及び面接の結果を総合して合否を判定する。

実 技 検 査

○ 芸術・表現行動学科「舞踊教育学コース」志望者に次の検査を行う。

1 必須課題

ア. 舞踊・スポーツに必要な身体支配能力をみるための基礎運動
イ. 面接

2 選択課題

下記のア、イのいずれかを選択すること。

ア. 舞踊（下記の①と②を行う。）

① 既成作品：モダンダンス、バレエ、日本舞踊、民族舞踊や、マイム、新体操などの表現領域から作品を自由に選択し、1分以内に演じる。自作・他作どちらでも可。

使用する音楽（カセットテープに録音のこと）を持参のこと。

② 創 作：課題は当日提示する。

イ. スポーツ（下記の①から③の全種目を行う。）

① バレーボール

② バasketボール

③ テニス（硬式）

※ 実技検査に必要な服装、用具、靴（体育館シューズ及び各自選択課題に必要な靴）を持参のこと。

○ 芸術・表現行動学科「音楽表現コース」志望者に次の検査を行う。

1 必須課題

ア. 聴 音 : 1～2声部

イ. 新曲視唱 : 旋律のみ

ウ. 歌 唱 : イタリア古典歌曲（原語）より1曲自由選択し、暗譜で演奏すること。

なお、歌唱は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない）

エ. ピアノ : J. S. バッハ作曲の鍵盤音楽（3分以内）より1曲を自由選択し、暗譜で演奏すること。

2 選択課題

次のア、イ、ウのいずれか一つを選択すること。

ア. 声楽演奏

下記のいずれかを選択し、暗譜で演奏すること。

① 日本歌曲

② アリア（原語・原調）又は外国歌曲（原語）

なお、声楽演奏は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない）

イ. ピアノ演奏

下記のいずれかを選択し、暗譜で演奏すること。

① ベートーヴェンのピアノソナタから一つの楽章を自由選択（ただし、緩徐楽章を除く）

② ショパンのピアノ練習曲集（作品10、作品25）から2曲を自由選択

ウ. 声又は任意の楽器による演奏

音楽様式は問わない（邦楽器、洋楽器など）。

演奏に関する質疑応答を行う。楽譜使用可。演奏は受験者本人のみに限る。

8. 合格発表等

- (1) 合格者の発表は、平成13年12月6日(木)正午頃、学内本部棟前掲示板に発表するとともに、合格者には「合格通知書」及び「入学関係書類」を、合格とならなかった者には「結果通知書」を送付し、併せて推薦学校長に被推薦者の合否を文書で通知する。

(注) 電話等による合否の問い合わせには一切応じない。

- (2) 合格者は、本学及び他の国公立大学(私立産業医科大学を含む。)を受験することはできない。

9. 入学手続

- (1) 郵送により入学手続を行う。

○提出書類

- ① 推薦入学受験票 (なお、平成14年度大学入試センター試験に出願している者は、その受験票も同封すること。)
- ② 入 学 料 282,000円
- ③ 納 付 書 (別途合格者に通知する。)

入学手続に関する詳細及び授業料〔前期分248,400円(年額496,800円)〕の納入時期については、別途合格者に通知する。

- (注) 1 入学料の納付は、郵便局で発行する普通為替証書によること。
2 入学料及び授業料の免除については、「3入学料免除と授業料免除」を参照のこと。

○郵送受付期間 平成13年12月11日(火)～平成13年12月21日(金) 必着

必ず「書留速達」とし、平成13年12月21日(金)までに本学に到着するよう郵送期間(本学への配達日)を確認して送付すること。

ただし、平成13年12月21日(金)までの発信局消印のある書留速達は、平成13年12月25日(火)まで受理する。

(注) 入学手続が受付期間内に完了しない場合は、入学を辞退した者として取り扱う。

[送付先] 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学 入試課

- (2) 合格者が極めて特殊な事情により入学を辞退する場合は、入学手続に替えて、平成14年2月15日(金)までに、その理由を付した本学学長あての「推薦入学辞退願」(様式任意)を推薦を受けた学校長の連署を得て、入試課に提出すること。
入学辞退が許可されない場合には、本学及び他の国公立大学(私立産業医科大学を含む。)を受験しても入学許可は得られないので注意すること。

10. 合格とならなかった場合の取扱い

合格とならなかった者で、一般志願者として国公立大学(私立産業医科大学を含む。)を受験しようとする者は、前期日程の大学・学部から1つ、後期日程の大学・学部から1つの合計2つの大学・学部に出願することができる。

出願にあたっては、各大学・学部等により大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等が異なる場合があるので特に注意すること。

本学に出願する場合は、別途「平成14年度お茶の水女子大学学生募集要項」(11月初旬から配布予定)により、所定の出願書類等を平成14年1月28日(月)から2月6日(水)の期間内に、本学所定の出願用封筒を用い書留速達で入試課に郵送すること。

11. 平成13年度推薦入学の小論文試験問題の請求

平成13年度推薦入学の小論文試験問題の郵送を希望する場合は、返信用の封筒（角型2号 23.9×33.1cm）に140円分の切手を貼り、推薦入学の学科（コース）名を明記して入試課に請求すること。

○平成13年度に小論文試験を実施した学部・学科（コース）

文教育学部	人文学科 人間社会科学科 芸術・表現行動学科 舞踊教育学コース 芸術・表現行動学科 音楽表現コース
理学部	生物学科

12. 大学案内の請求

各学部・学科の紹介等は、「お茶の水女子大学大学案内」に記載されている。「大学案内」の送付を希望する場合は、返信用の封筒（角型2号 23.9×33.1cm）に宛名を明記し、390円分の切手を貼ったものを同封し、請求する封筒の表に「大学案内請求」と朱書きのうえ、請求してください。

〔請求先〕 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学 入試課

また、インターネットからでも請求できるので、ご利用ください。

お茶の水女子大学入試課ホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

II 帰国子女・外国学校出身者特別選抜学生募集要項

1. 募集学部・学科及び募集人員

学 部	学 科	募 集 人 員
理 学 部	数 学 科 物 理 学 科 化 学 科 生 物 学 科 情 報 学 科	} 入学定員のうち若干名

2. 出 願 資 格

日本国籍を有する女子で、次の基礎資格を有し、かつ要件を満たしている者。

(1) 基 礎 資 格

次のいずれかに該当する女子。

ア 平成13年度末までに高等学校（中等教育学校を含む。）を卒業又は卒業見込みの者で、外国において2年以上（2学年相当修了も含む。）継続して外国の正規の学校教育を受けた者

イ 外国において、学校教育における12年の課程のうち最終学年を含め2年以上（2学年相当修了も含む。）継続して教育を受け、卒業又は卒業見込みの者

ウ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、平成14年3月31日までに満18歳に達する者

エ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成14年3月31日までに満18歳に達する者

オ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成14年3月31日までに満18歳に達する者

(注) 外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有していると認定した在外教育施設）に在学した期間については、外国において学校教育を受けたものとはみなさない。

(2) 要 件

帰国してから出願までの期間は、外国での正規の学校在学期間を超えないこと。

3. 出 願 書 類 等

帰国子女・外国学校 出身者特別選抜願書	本 学 所 定 の 用 紙
最終出身校卒業（修了） 証明書又は卒業（修了） 見込み証明書	高等学校〔日本の高等学校に相当する課程をいう。（以下「高等学校」という。）〕長の作成したもの。バカロレア・アビトゥア資格を有する者は、その証書の写しを同封すること。
成績証明書又は調査書	高等学校長が作成し厳封したもの。 ただし、成績証明書記載事項のうち科目名、成績評価等が符号または略字により表示されている場合には、必ずその説明を付すること。
在 籍 証 明 書	在籍した外国の学校のそれぞれの学校長が作成したもの。
健 康 診 断 書	出願3か月以内に作成したもの。ただし、平成13年3月から平成14年3月までに日本の高等学校卒業又は卒業見込みの者は提出しなくてよい。
検 定 料	17,000円 〔郵便局振出しの普通為替証書（受取人指定欄に「お茶の水女子大学」とのみ書くこと。）〕 出願時に海外に在住する者は、「日本国内の連絡先」の者に依頼して郵便為替にすること。 注1 第1次選考の不合格者に対しては、13,000円を返還する。 2 上記1の該当者は平成14年3月29日までに申し出ること。 （返還手続の方法は第1次選考の結果とともに通知する。） なお、上記1の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しない。
受験票返送用封筒	本学所定の受験票返送用封筒に「日本国内の連絡先」を明記し、350円分の切手を（速達料を含む。）貼ること。
あて名シール2枚	合格通知等に使用するので、本学所定の用紙に「日本国内の連絡先」の住所・氏名・郵便番号を明記すること。

- (注) 1 出願書類に記載事項の記入もれその他不備の場合は、出願書類を受理しない。また、一旦受理した出願書類の出願事項の変更、返却は認めない。
2 出願書類のうち日本語以外の国語で書かれた証明書等については、その日本語訳を添付すること。ただし、外国の学校の成績証明については、添付可能なものとする。

4. 出 願 方 法

出願書類を一括して、本学所定の出願用封筒を用い、必ず「書留速達」で本学入試課宛に郵送すること。出願書類を受け付けた者に対しては「受験票」を11月上旬に送付する。

〔送 付 先〕 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学 入試課

(注) 大学からの連絡、受験票の送付、第1次選考、第2次選考の結果通知等は、すべて願書の「日本国内の連絡先」欄に記載の住所・氏名あてに行う。

5. 出 願 期 間

平成13年10月22日（月）から11月2日（金）まで（締切日までの消印があれば有効）

6. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、次の第1次選考、第2次選考に分けて行う。

(1)第 1 次 選 考： 出願書類を資料として行う。

なお、第1次選考結果は、平成13年11月21日(水)までに、合格者には「第1次選考合格通知書」を、合格とならなかった者には「第1次選考結果通知書」及び「検定料返還金請求書」を送付する。

(2)第 2 次 選 考： 第1次選考合格者に対し、次の試験等を行う。

試験日時： 平成13年11月29日(木)

時 間 割

学 科 名	教 科 等	時 間	試 験 場
数 学 科	数 学	9時30分～10時40分	お茶の水女子大学 理 学 部
	情 報 科 学 科	小 論 文	
	口 述 試 験	13時00分～	
物 理 学 科	口 述 試 験	10時00分～	
化 学 科	口 述 試 験	10時00分～	
生 物 学 科	小 論 文	10時15分～11時30分	
	口 述 試 験	13時30分～	

数学の内容

数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ
 数A (数と式、数列)
 数B (ベクトル、複素数と複素数平面)
 数C (行列と線形計算、いろいろな曲線)

7. 合 格 発 表 等

合格者の発表は、平成13年12月6日(木)正午頃、学内本部棟前掲示板に発表するとともに、合格者には届け出のあった「合格通知先」あてに「合格通知書」及び「入学関係書類」を送付する。

(注) 帰国子女・外国学校出身者のための入学者選抜については、本学では「特別選抜」として実施するため、この選抜で合格した者は、指定の期日に入学手続を行うこと。

なお、合格者で特別な事情により本学への入学を辞退しようとする者は、平成13年12月21日(金)までに、その理由を付した本学学長あての「帰国子女・外国学校出身者特別選抜入学辞退届」(様式任意)を入試課に提出すること。

8. 入学手続

(1) 郵送により入学手続を行う。

○提出書類

- ① 帰国子女・外国学校出身者特別選抜受験票
(なお、平成14年度大学入試センター試験に出願している者は、その受験票も同封すること。)
- ② 入 学 料 282,000円
- ③ 納 付 書 (別途合格者に通知する。)

入学手続に関する詳細及び授業料〔前期分248,400円(年額496,800円)の納入時期については、別途合格者に通知する。〕

- (注) 1 入学料の納付は、郵便局で発行する普通為替証書によること。
2 入学料及び授業料の免除については、「3 入学料免除と授業料免除」を参照のこと。

○郵送受付期間 平成13年12月11日(火)～平成13年12月21日(金) 必着

必ず「書留速達」とし、平成13年12月21日(金)までに本学に到着するよう郵送期間(本学への配達日)を確認して送付すること。
ただし、平成13年12月21日(金)までの発信局消印のある書留速達は、平成13年12月25日(火)まで受理する。

(注) 入学手続が受付期間内に完了しない場合は、入学を辞退した者として取り扱う。

[送付先] 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学 入試課

(2) 本学に入学手続を完了した者は、これを取り消して他の国公立大学(私立産業医科大学を含む。)に入学入学手続をすることはできない。

9. 合格とならなかった場合の取扱い

合格とならなかった者で、一般志願者として国公立大学(私立産業医科大学を含む。)を受験しようとする者は、前期日程の大学・学部から1つ、後期日程の大学・学部から1つの合計2つの大学・学部に出願することができる。

出願に当たっては、各大学・学部等により大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等が異なる場合があるので特に注意すること。

本学に出願する場合は、別途「平成14年度お茶の水女子大学学生募集要項」(11月初旬から配布予定)により、所定の出願書類等を平成14年1月28日(月)から2月6日(水)の期間内に、本学所定の出願用封筒を用い書留速達で入試課に郵送すること。

10. 平成13年度帰国子女・外国学校出身者特別選抜の試験問題の請求

平成13年度帰国子女・外国学校出身者特別選抜の数学及び小論文の試験問題(数学科・生物学科・情報科学科)の郵送を希望する場合は、返信用の封筒(角型2号 23.9×33.1cm)に140円分の切手を貼り、帰国子女・外国学校出身者特別選抜の学科名を明記して入試課に請求すること。

11. 大学案内の請求

各学部・学科の紹介等は、「お茶の水女子大学大学案内」に記載されている。「大学案内」の送付を希望する場合は、返信用の封筒(角型2号 23.9×33.1cm)に宛名を明記し、390円分の切手を貼ったものを同封し、請求する封筒の表に「大学案内請求」と朱書きのうえ、請求してください。

[請求先] 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学 入試課

また、インターネットからでも請求もできるので、ご利用ください。
お茶の水女子大学入試課ホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

○平成14年度お茶の水女子大学私費外国人留学生
(学部留学生) 特別選抜学生募集要項

1 募集学部・学科・人員

学 部	学 科	募 集 人 員
文教育学部	人文科学科、言語文化学科、人間社会科学科、芸術・表現行動学科	若干名
理 学 部	数学科、物理学科、化学科、生物学科、情報科学科	若干名
生活科学部	生活環境学科、人間生活学科	若干名

2 出願資格

次の(1)及び(2)の両方に該当する日本国籍を有しない女子で、出入国管理及び難民認定法の定めるところにより、在留資格「留学」又は「留学」に変更できる在留資格を有する者及び取得できる見込みの者。

(1) 次の①、②、③、④のいずれかに該当する者。

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成14年(2002年)3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
- ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、平成14年(2002年)3月31日までに満18歳に達する者。
- ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成14年(2002年)3月31日までに満18歳に達する者。
- ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成14年(2002年)3月31日までに満18歳に達する者。

(2) 日本国際教育協会主催の「平成14年度私費外国人留学生統一試験」及び「平成13年度日本語能力試験(1級)」を受験した者。

なお、日本において高等学校を卒業又は同等以上の資格を得た者は、一般志願者用の募集要項により手続きをすること。

3 出願期間

平成13年(2001年)12月10日(月)～12月17日(月)まで。

(12月17日消印有効)

4 出願手続

(1) 提出書類等

入 学 願 書 受験票・写真票	5cm×4cmで出願前3か月以内に撮影した写真2枚を指定欄に貼付
成績証明書(最終出身校のもの)、卒業証明書及び関係教官の推薦書(日本語訳を付けること。) 【バカロレア資格・アビトゥア資格により出願をする者はその証書の写し】	
作 文	日本語による自筆の作文 (1,000字以内で、留学の目的、専攻分野の内容、将来の計画等について)
平成14年度私費外国人留学生統一試験及び平成13年度日本語能力試験(1級)の受験票の写し	
健 康 診 断 書	本学所定の用紙を用る。
外国人登録済証明書(在留・在留期間のものを) ……………	出願時に日本国内に在住している者
戸籍謄本又は出生証明書等 ……………	出願時に日本国外に在住している者
検 定 料	17,000円 郵便局振出の普通為替証書(受取人欄に、「お茶の水女子大学」とのみ記入すること。 注) 出願時に海外に在住する者は、「日本国内の連絡先」の者に依頼して郵便為替にすること。
検 定 料 納 付 書	本学所定の「原符・領収証書」に必要事項を記入すること。
あて名シール	合格通知その他に使用するので、「日本国内の連絡先」の住所、氏名及び郵便番号を明記すること。
受験票返送用封筒	本学所定の受験票返送用封筒に送付先を明記(日本国内の連絡先)して350円分の切手(速達料を含む)を貼ること。

(2) 出願方法

出願書類を一括して、本学所定の出願用封筒に入れ、必ず「書留速達」扱いで本学入試課宛に郵送すること。

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学入試課

5 私費外国人留学生統一試験で受験を要する科目等

学 部	学 科	受 験 を 要 す る 科 目	受 験 を 要 す る 科 目 数
文教育学部	言語文化学科	文科系	全科目
	人文科学科 人間社会科学科 芸術・表現行動学科	文科系又は理科系のいずれかを選択	全科目
理学部	全 学 科	理 科 系	全 科 目
生活科学部	生活環境学科	理 科 系	全 科 目
	人間生活学科	文科系又は理科系のいずれかを選択	全 科 目

6 受験票の送付

- (1) 「お茶の水女子大学受験票」は、「受験者心得」とともに、平成14年(2002年)2月7日(木)頃発送する予定。なお、2月13日(水)を過ぎても到着しないときは、入試課へ問い合わせること。
- (2) 受験の際は、「お茶の水女子大学受験票」及び「平成13年度日本語能力試験(1級)受験票」、「平成14年度私費外国人留学生統一試験受験票」を必ず持参すること。

7 入学者の選抜方法等

- (1) 志願者全員に本学の入学試験を課し、その結果と日本語能力試験(1級)成績、私費外国人留学生統一試験成績、最終出身校の成績証明書、健康診断書等により、総合して合格者を判定する。
- (2) 試験日時 平成14年(2002年)2月25日(月)、26日(火)
- (3) 学力検査教科・科目

志願する学部・学科	学 力 検 査 科 目
文 教 育 学 部	人文科学科 日本語 外国語(英語I・II・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	言語文化学科 日本語 外国語(英語I・II・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	人間社会科学科 日本語 外国語(英語I・II・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	芸術・表現行動 学 科 日本語 外国語(英語I・II・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択) ※ 上記学力検査のほか、実技検査を行う。

志願する学部・学科		学 力 検 査 科 目
理 学 部	数 学 科	数学共通 (数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 数 学 (数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A*・数B*・数C*) 日本語 外国語 (英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	物 理 学 科	数学共通 (数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 数学・理科 (「物理」と「数Ⅲ・数C*」、化学、生物から1科目選択) 日本語 外国語 (英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	化 学 科	数学共通 (数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 理 科 (「化学」と「物理、生物から1科目選択」) 日本語 外国語 (英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	生 物 学 科	数学共通 (数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 理 科 (「生物」と「物理、化学から1科目選択」) 日本語 外国語 (英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	情 報 科 学 科	数学共通 (数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 数 学 (数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A*・数B*・数C*) 数学・理科 (数Ⅲ・数C*、物理、化学、生物から2科目選択) 日本語 外国語 (英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
生 活 科 学 部	生 活 環 境 学 科	数 学 (数Ⅰ・数Ⅱ・数A*・数B*) 日本語 外国語 (英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	人 間 生 活 学 科	日本語 外国語 (英語Ⅰ・Ⅱ・リーディング、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)

数A* (数と式、数列)
数B* (ベクトル、複素数と複素数平面)
数C* (行列と線形計算、いろいろな曲線)

(注) 学力検査科目欄の外国語 (英語、ドイツ語、フランス語) は、母国語を選択することはできない。

(4) 実技検査

○ 芸術・表現行動学科「舞踊教育学コース」志望者に次の検査を行う。

- 1, 必須課題
ア. 舞踊・スポーツに必要な身体支配能力をみるための基礎運動
イ. 面接
- 2, 選択課題（下記のア、イのいずれかを選択すること）
ア. 舞踊（下記の①と②を行う。）
① 既成作品：モダンダンス、バレエ、日本舞踊、民族舞踊やマイム、新体操などの表現領域から作品を自由に選択し、1分以内に演じる。自作・他作どちらでも可。使用する音楽（カセットテープに録音のこと）を持参のこと。
② 創作：課題は当日提示する。
イ. スポーツ（下記の①から③の全種目を行う。）
① バレーボール
② バスケットボール
③ テニス（硬式）
- ※ 実技検査に必要な服装、用具、靴（体育館シューズ及び各自選択課題に必要な靴）を持参のこと。

○ 芸術・表現行動学科「音楽表現コース」志望者に次の検査を行う。

- 1, 必須課題
ア. 聴 音 : 1～2声部
イ. 新曲視唱 : 旋律のみ
ウ. 歌 唱 : イタリア古典歌曲（原語）より1曲自由選択し、暗譜で演奏すること。
なお、歌唱は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない）
エ. ピアノ : J. S. バッハ作曲の鍵盤音楽（3分以内）より1曲を自由選択し、暗譜で演奏すること。
- 2, 選択課題
次のア、イ、ウのいずれか一つを選択すること。
- ア. 声楽演奏
下記のいずれかを選択し、暗譜で演奏すること。
① 日本歌曲
② アリア（原語・原調）または外国歌曲（原語）
なお、声楽演奏は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない）
- イ. ピアノ演奏
下記のいずれかを選択し、暗譜で演奏すること。
① ベートーヴェンのピアノソナタから一つの楽章を自由選択（ただし、緩徐楽章を除く）
② ショパンのピアノ練習曲集（作品10, 作品25）から2曲を自由選択
- ウ. 声又は任意の楽器による演奏
音楽様式は問わない（邦楽器、洋楽器など）。
演奏に関する質疑応答を行う。楽譜使用可。演奏は受験者本人のみに限る。

(5) 口述試験

各学部とも口述試験を行う。

(6) 入学試験日時割

		2月25日 (月)		2月26日 (火)			
文 教 育 学 部	人文学科 言語文化学科 人間社会科学科	実技検査 10:00 ~			日本語	外国語	口述試験
	芸術・表現行動 学 科 舞踊教育学コース						
	音楽表現コース						
理 学 部	数 学 科	数学 共通 10:00~11:40	数学 13:00~15:00	10:00) 11:40	13:00) 14:40	15:20 ~ (但し、語文化 科は16:20 ~とする。)	
	物 理 学 科		物理・選択(数Ⅲ・数C、化学、生物) 13:00 ~ 16:00				
	化 学 科		化学・選択(物理、生物) 13:00 ~ 16:00				
	生 物 学 科		生物・選択(物理、化学) 13:00 ~ 16:00				
	情 報 学 科		数学・選択(数Ⅲ・数C、 物理、化学、生物) 13:00 ~ 16:00				
生 活 科 学 部	生活環境学科	数 学 10:00~11:40					
	人間生活学科						

※ 受験上の注意等については、受験票送付の際に同封する。

8 合格発表

平成14年(2002年)3月8日(金)正午(予定)

学内本部棟前掲示板に掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送する。

9 入学手続等

入学手続は入学手続書類を郵送により行う。手続方法についての詳細は、合格者に送付する入学手続関係の案内に記載されている。

(1) 入学手続期間

学 部	入学手続書類郵送受付期間
文 教 育 学 部 理 学 学 部 生 活 科 学 部	3月11日(月) から 3月15日(金) 必着

(注) 所定の期日までに手続をしない者は、入学を辞退した者として取り扱う。

(2) 手 続 事 項

提出書類	お茶の水女子大学受験票
入 学 料	282,000円
授 業 料	前期分 248,400円 [年額 496,800円] (注1) 前期分の授業料を上記手続期間中に納入しないときは、4月1日から4月30日までの間に納入することになる。 (注2) 入学手続終了者が3月29日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申出により当該授業料相当額を返還する。 (注3) 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができる。 (注4) 在学中に授業料改定が行われた場合に、改定時から新授業料が適用されるので留意すること。

10 注意事項

- (1) 提出書類に不備不足等がある場合は受理しない。また、いったん受理した書類は返却しない。
- (2) 既納の検定料は、いかなる理由があっても返還しない。
- (3) 可否に関しての電話による問い合わせには応じない。

11 平成13年度私費外国人留学生(学部留学生)試験問題の開示

平成13年度私費外国人留学生(学部留学生)試験問題を開示しているので、希望者は、入試課に問い合わせること。

12 大学案内の請求

各学部・学科の紹介等は、「お茶の水女子大学大学案内」の冊子に記載されているので、希望者は、角型2号(23.9×33.1cm)の返信用封にあて名を明記し、390円分の切手を貼付したものを同封し、請求する封筒の表に「大学案内請求」と朱書きのうえ、請求してください。

○募集要項、大学案内請求先

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号

お茶の水女子大学入試課

☎ 03-5978-5697

○学位授与

(課程修了によるもの)

学位授与日：平成13年9月28日

授与番号	博士の専攻分野の名称	氏名	本籍	博士論文名
甲第 213号	博士(学術)	岡部 玲子	群馬県	パラダイム手法によるショパン《バラード》全4曲のエディション研究
甲第 214号	博士(社会科学)	村尾 祐美子	東京都	労働市場における男女の差異化と権力関係
甲第 215号	博士(人文科学)	李 炫 瑛	大韓民国	近世前期の加賀俳壇と蕉風俳諧の研究
甲第 216号	博士(社会科学)	土屋 葉	岐阜県	「障害者家族」のリアリティ構成
甲第 217号	博士(人文科学)	池田 玲子	神奈川県	日本語作文教育におけるピア・レスポンスの研究
甲第 218号	博士(理学)	松永 真季	東京都	ヒトデ胚における割球の空間的配列の保持機構—微絨毛と受精膜の役割—
甲第 219号	博士(理学)	中尾 朗子	鳥取県	高次混合配位子希土類錯体の合成・構造及び分光学的特性
甲第 220号	博士(人文科学)	三戸(酒向)治子	広島県	マース・カニングハムの舞踊における静(stillness)の展開
甲第 221号	博士(社会科学)	武石 恵美子	東京都	1990年代の雇用管理の変化と女性の企業内キャリア構造

(論文提出によるもの)

学位授与日：平成13年9月28日

授与番号	博士の専攻分野の名称	氏名	本籍	博士論文名
乙第 150号	博士(理学)	小山 珠美	神奈川県	生体分子間相互作用を利用した生体成分の分離と分析に関する研究
乙第 151号	博士(学術)	高崎 禎子	高知県	製パンに関する食品化学的研究
乙第 152号	博士(理学)	中谷 香織	三重県	高分子鎖を内包したマイクロエマルションdropletの静的および動的挙動
乙第 153号	博士(人文科学)	田崎 直美	神奈川県	15-17世紀フランス詩に基づくプーランク作品の研究

○平成13年9月卒業式・大学院修了式・学位記（論文博士）授与式

今年度の9月卒業式・大学院修了式・学位記（論文博士）授与式が、9月28日（金）11時から人間文化研究科大会議室で行われた。

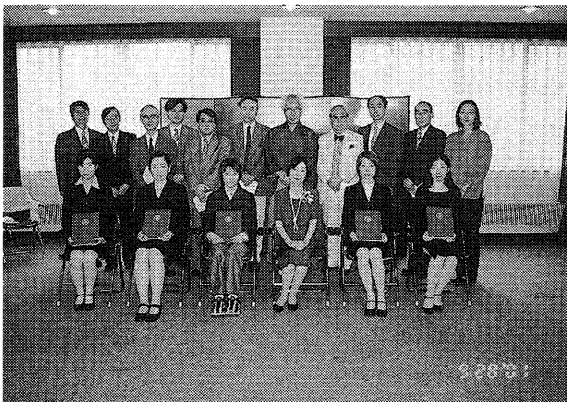
・ 卒業者数（8名）

文教育学部	4名
理 学 部	2名
生活科学部	2名

・ 修了者数（16名）

博士前期課程	人間文化研究科	7名
博士後期課程	人間文化研究科	9名

・ 論文博士（4名）



学 部 卒 業 者



博 士 前 期 課 程 修 了 者



博 士 後 期 課 程 修 了 者



論 文 博 士

諸 報

○研 修

名 称	実 施 日 時	対 象 者	修 了 者	主 催
第13年度関東・甲信越地区国立学校等技術専門職員研修	平成13年9月4日 ～ 9月7日	① 技術専門職員又は技術専門職員相当の職にある者 ② 勤務成績が優秀な者	理学部・技術専門職員 北川 一隆	文部科学省及び東京商船大学・埼玉大学
平成13年度会計事務特別研修	平成13年9月17日 ～ 10月5日	現在会計事務に従事し、かつ、1年以上会計事務の経験を有する者又はそれに相当する者で、原則として年齢25歳以上30歳以下の者	会計課・用度係 石井 文弘	文部科学省及び独立行政法人教員研修センター
平成13年度国立学校等課長補佐級研修	平成13年10月9日 ～ 10月12日	平成12年度の本研修後に新たに国立学校等の課長補佐、室長補佐、事務長補佐及び専門員（職制定数上の専門員をいう。）及び主任専門職員に就任した者で、原則として年齢50歳以下の者	総務課・専門員 平松 周二	文部科学省及び独立行政法人教員研修センター
平成13年度関東・甲信越地区国立学校等係長研修	平成13年10月16日 ～ 10月19日	① 係長又は係長相当の職にある者 ② 年齢50歳以下の者 ③ 勤務成績が優秀な者	会計課・司計係長 岩田 光夫 学務課・学務係長 藤野 義広	文部科学省及び横浜国立大学・埼玉大学
平成13年度放射性同位元素等取扱施設安全管理担当教職員研修	平成13年10月25日 ～ 10月26日	各放射性同位元素等取扱施設における放射線安全管理担当教職員	理学部・放射線取扱主任者 古田 悦子	文部科学省及び東京大学7117-7総合センター

○健康診断

事 項	実 施 日 時	対 象 者	受診者数	実 施 場 所
職員特別定期健康診断	平成13年9月19日	自動車運転手	1人	保健管理センター

○レクリエーション行事

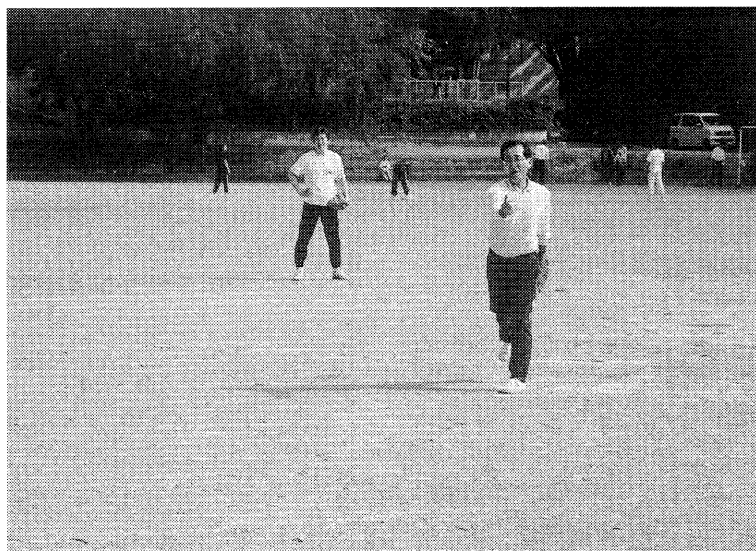
『職員ソフトボール大会』

去る、10月25日（木）・26日（金）に、大学グラウンドにおいて、平成13年度職員レクリエーション「職員ソフトボール大会」が行われました。

今回は、4チームの対戦となり、応援者を含め77名が参加し、熱戦を繰りひろげました。

なお、成績は、次のとおりです。

優勝	総務課・研究協力室 チーム
準優勝	学務課・学生課・入試課 チーム
第3位	理学部・企画広報室 チーム
第4位	会計課 チーム



事務局長による始球式



優勝 総務課・研究協力室チーム

○学長表彰

学長表彰式が9月28日人間文化研究科会議室で行われ、被表彰者には表彰状と記念品が授与されました。

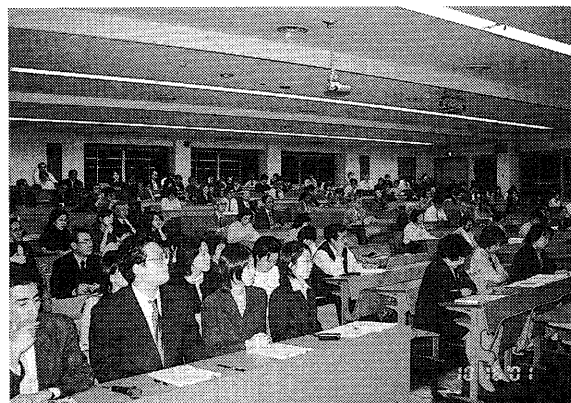
被表彰者：文教育学部芸術・表現行動学科舞踊教育学コースの

「第14回全日本高校・ダンスフェスティバル」参加学生24名



○「大学改革と男女共同参画政策について」特別講演会

10月16日(火)、文部科学省高等教育局の板東高等教育企画課長を講師に招き、「大学改革と男女共同参画政策について」と題した特別講演会を開催し、学長をはじめ約150名の教職員及び学生が聴講した。講演会では男女共同参画に対し本学がどのような役割を担うべきかについて話され、受講者は熱心に聴き入っていた。

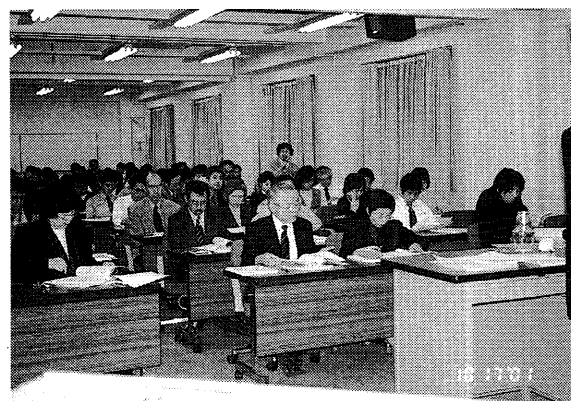


○科学研究費補助金に関する説明会

科学研究費補助金の理解を深めるため、科学研究費補助金の公募内容等について教職員を対象に説明会を、10月17日(水)午後3時から理学部会議室で開催し、約100名が参加した。

講師：石田 雄三 氏 (日本学術振興会研究事業部研究助成課次長)

演題：科学研究費補助金の公募内容等について



○国立大学法人（仮称）に関する特別研修

国立大学の法人化についての研修会を10月29日（月）14時30分から17時30分まで、人間文化研究科大会議室を会場に実施した。

この研修は、これからの国立大学の法人化等について、幅広くかつ最新の情報を認識することを目的として行われ、教職員45名が参加した。

講師：関口 恭三 氏（中央青山監査法人公認会計士）



○平成13年度お茶の水女子大学総合防災訓練を実施

平成13年度お茶の水女子大学総合防災訓練が10月31日（水）12時から13時までの間、教職員・学生・生協職員が参加し実施された。

訓練は、正午に震度6程度の大地震発生を想定した全体の避難訓練と各種訓練の2部構成で実施された。

各種訓練では、起震車による地震体験、煙ハウスによる煙体験、消火器による消火訓練が、それぞれ実施された。



日 誌

- | | |
|--|--|
| <p>9月1日(土) 附属高等学校第2学期始業式
附属中学校第2学期始業式
附属小学校第2学期始業式</p> <p>5日(水) 評価委員会
人間文化前期専攻会議</p> <p>6日(木) 代議員会
広報委員会
人間文化後期専攻会議</p> <p>7日(金) 人間文化研究科博士前期課程入試合格発表
独立行政法人化調査検討委員会</p> <p>10日(月) 附属幼稚園第2学期始業式</p> <p>11日(火) 附属学校連絡会
拡大主任会議(生)
主任会議(文・理)</p> <p>12日(水) 学長補佐会議
ジェンダー研究センター運営委員会
日本語・日本文化研修留学生修了証書授与式
教授会
人間文化研究科(博士前期課程・博士後期課程)入試委員会</p> <p>13日(木) 人間文化研究科博士前期課程入試(~14日)</p> <p>14日(金) 自然科学紀要編集委員会
夏期休業終</p> <p>17日(月) 附属学校教育研究委員会
入学者選抜方法研究委員会
前学期末試験・補講日(~21日)</p> <p>18日(火) 生活環境研究センター運営委員会</p> <p>19日(水) 附属学校委員会
国際交流委員会
入学試験委員会
ホームページ運営委員会
外国人留学生見学旅行(~21日)</p> <p>20日(木) 学生委員会
文教育学部教務関係事項検討委員会
人間文化研究科専攻長会議
人間文化研究科後期専攻会議</p> <p>21日(金) 大学資料委員会
代議員会
学長補佐会議
公開講座委員会</p> <p>24日(月) 秋期休業始</p> | <p>25日(火) 防災委員会
部局長会議
入学試験委員会
博士後期課程入試合格発表</p> <p>26日(水) 評議会</p> <p>28日(金) 事業系廃棄物立入調査
卒業式・大学院修了式・学位記(論文博士)授与式
学長表彰式
事務連絡協議会</p> <p>29日(土) 附属高等学校文化祭(輝鏡祭)(~30日)
附属中学校生徒祭(~30日)</p> <p>30日(日) 秋期休業終</p> <p>10月1日(月) 保井・黒田奨学金受奨候補者選考委員会
生物医学的研究の倫理特別委員会
後学期授業開始</p> <p>2日(火) 附属学校連絡会
学務委員会</p> <p>3日(水) 就職ガイダンス(第2回)
ファカルティ・ディベロップメント委員会
評価委員会</p> <p>6日(土) 附属幼稚園運動会
公開講座「つたえる」(1/3日目)</p> <p>9日(火) 学長補佐会議
主任会議</p> <p>10日(水) 外国人留学生オリエンテーション
就職ガイダンス(第3回)
教授会
人間文化研究科前期専攻会議</p> <p>12日(金) 保健管理センター運営委員会
附属4校園PTA主催講演会
文教育学部教務関係事項検討委員会</p> <p>13日(土) 公開講座「つたえる」(2/3日目)</p> <p>15日(月) 献 血
ジェンダー研究センター運営委員会
課長等連絡会議
附属学校教育研究委員会
生活科学部カリキュラム小委員会</p> <p>16日(火) 生活環境研究センター運営委員会
「大学改革と男女共同参画政策について」特別講演会</p> |
|--|--|

- 17日(水) 代議員会
 人間文化研究科専攻長会議
 科学研究費補助金に関する説明会
 独立行政法人化調査検討委員会
 人間文化研究科後期専攻会議
- 18日(木) 生活科学部第3年次編入学出願(～24日)
- 19日(金) 共通機器センター運営委員会
 情報処理センター運営委員会
 留学生センター運営委員会
- 20日(土) 公開講座「つたえる」(3/3日目)
 附属中学校学校説明会
- 21日(日) 全学停電日
- 22日(月) 学長補佐会議
 評価委員会
 理学部帰国子女・外国学校出身者特別選拔出願受付(～11月2日)
- 23日(火) 部局長会議
- 24日(水) 評議会
 就職ガイダンス(第4回)
 「留学生センター」の表札上掲式及び施設完成披露
 国際交流委員会
 入学者選抜方法研究委員会
- 25日(木) ソフトボール大会(～26日)
- 26日(金) 理学部談話会・懇話会
- 27日(土) 公開講座「たべる」(1/3日目)
- 29日(月) 学生生活専門委員会
 事務連絡協議会
 国立大学法人(仮称)に関する特別研修
 推薦入学出願受付(～2日)
- 30日(火) 学務委員会
- 31日(水) 総合防災訓練
 附属学校委員会・附属学校連絡会
 学部入試実施委員会
 文教育学部教務関係事項検討委員会
 大学資料委員会